
第六次鳥羽市総合計画策定に関する 市民意識調査報告書

令和元(2019)年 12 月
鳥羽市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要及び構成	1
第2章 回答者の属性	2
1. 性別	2
2. 年齢	2
3. 世帯構成	3
4. 主な職業	4
5. 交通手段	5
6. 居住年数	5
7. 居住地区	6
第3章 調査結果	7
1. 地域への愛着度	7
(1) 【全体】	7
(2) 【年齢別】	7
(3) 【地区別】	8
2. 住みやすさ	9
(1) 【全体】	9
(2) 【年齢別】	9
(3) 【地区別】	10
3. 定住意向とその要因	11
(1) 【全体】	11
(2) 【年齢別】	13
(3) 【地区別】	15
4. 広報利活用度	17
(1) 【全体】	17
(2) 【年齢別】	18
5. 市職員への印象	20
(1) 【全体】	20
6. 施策別満足度・重要度	22
(1) 【重要度】	22
(2) 【満足度】	25
(3) 【満足度及び重要度の分類による市民ニーズの整理】	27
7. 力を入れてほしいまちづくり分野	30
(1) 【全体】	30
8. 近所との付き合いの程度	31
(1) 【全体】	31
(2) 【年齢別】	31
(3) 【地区別】	32

9. 望ましい近所との付き合い方	33
(1) 【全体】	33
(2) 【年齢別】	33
(3) 【地区別】	34
10. 居住地域における課題	35
(1) 【全体】	35
(2) 【年齢別】	35
(3) 【地区別】	36
11. 日常における近所との支え合いでできると考える活動	37
(1) 【全体】	37
(2) 【年齢別】	38
(3) 【地区別】	39
参考資料 調査票	40

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の意向を把握し、第六次鳥羽市総合計画並びに後期基本計画の進捗を測る基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の概要及び構成

調査の概要及び構成は以下のとおりである。

調査の概要	
調査対象者	◆本市在住の18歳以上の市民（令和元（2019）年8月20日時点）
標本数	◆2,000人
対象者抽出方法	◆無作為抽出
調査方法	◆調査票の郵送による配布、回収（無記名調査）
調査時期	◆令和元（2019）年9月2日（月）～10月7日（月）正午 ※当初回収締切9月13日（金）から回収期間を延長
回収結果	◆回収数：425 ◆無効票：2 ◆有効回収数：423 ◆回収率：21.15%

調査の構成	
（1）地域への愛着度	◆現在の居住地域への愛着の有無
（2）住みやすさ	◆鳥羽市の住みやすさの評価
（3）定住意向とその要因	◆定住意向とその理由/転出意向とその理由
（4）広報利活用度	◆広報媒体別の利活用状況
（5）市職員への印象	◆市職員への満足度とそう感じた場面と対応
（6）施策別満足度・重要度	◆施策目標ごとの満足度/重要度
（7）力を入れてほしいまちづくり分野	◆今後特に力を入れてほしいまちづくり分野
（8）地域共生社会	◆近所との付き合い/居住地域の課題/日常における支え合い活動
（9）20年後の暮らし	◆20年後（2040年ごろ）の想像する自分の暮らし
（10）基本属性	◆性別/年齢層/世帯構成/職業/交通手段/居住年数/居住地区

調査報告書の見方

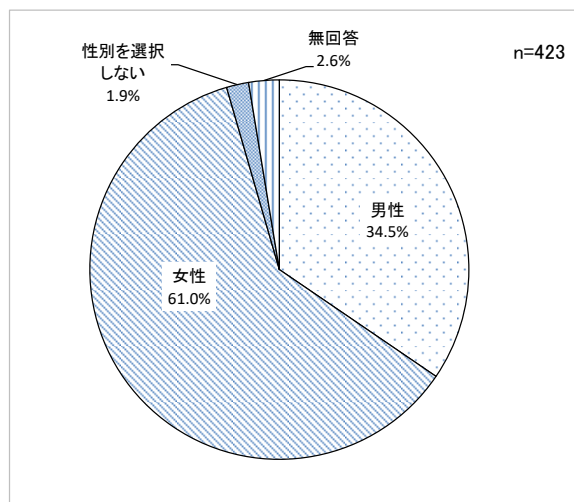
各回答の割合(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、各回答の割合(%)の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問においては、各回答の割合(%)の合計は100%にならない。なお設問ごとの有効回答数について、単一回答は「n」と表記し、複数回答については「ma」と表記する。

第2章 回答者の属性

1. 性別

問 13 あなたの性別をおたずねします。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

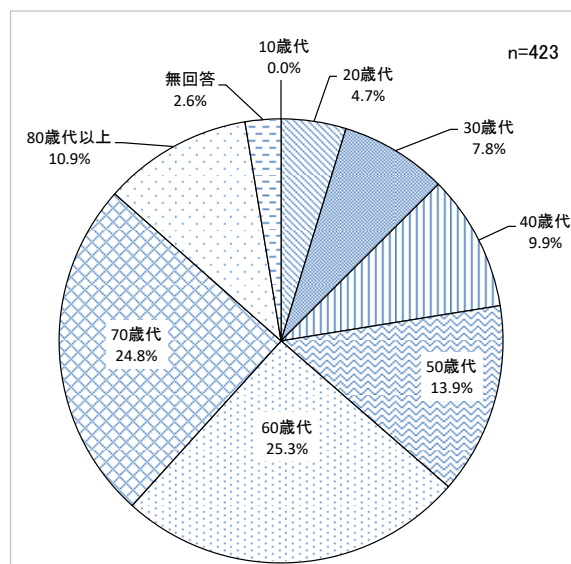
回答者の性別は、女性が61.0%、男性が34.5%であり、女性の回答割合が男性に比べ、26.5%高くなっている。



2. 年齢

問 14 あなたの年齢は次のうちどれにあたりますか。

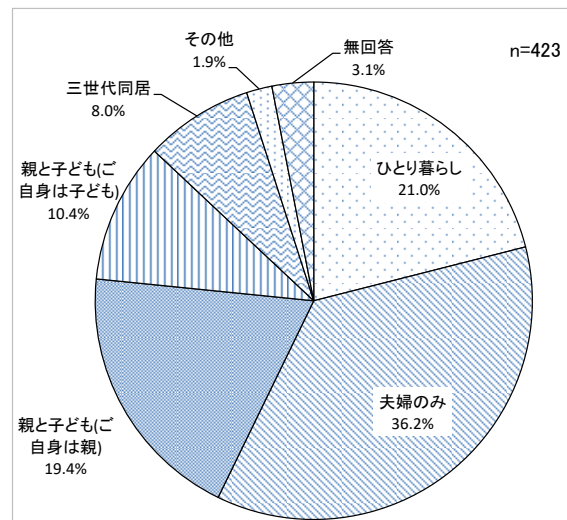
回答者の年齢は、60歳代が25.3%と最も高く、次いで、70歳代（24.8%）、50歳代（13.9%）となっている。60歳代以上の高齢者の回答割合が61.0%の一方で、30歳代以下の若年層の回答割合は12.5%と低くなっている。なお、今回調査では10歳代からの回答は0件であった。



3. 世帯構成

問 15 あなたの世帯構成は次のうちどれにあたりますか。

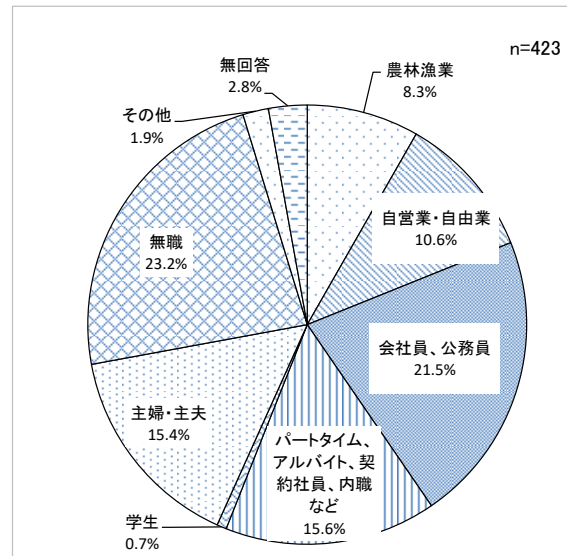
回答者の世帯構成は、夫婦のみが 36.2%と最も高く、次いで、ひとり暮らし（21.0%）、親と子ども（ご自身は親）（19.4%）となっている。同居家族のいる世帯が 74.0%と大半を占めている。



4. 主な職業

問 16 あなたの主なご職業は次のうちどれにあたりますか。(兼業の方は、主たる職業についてお答えください)

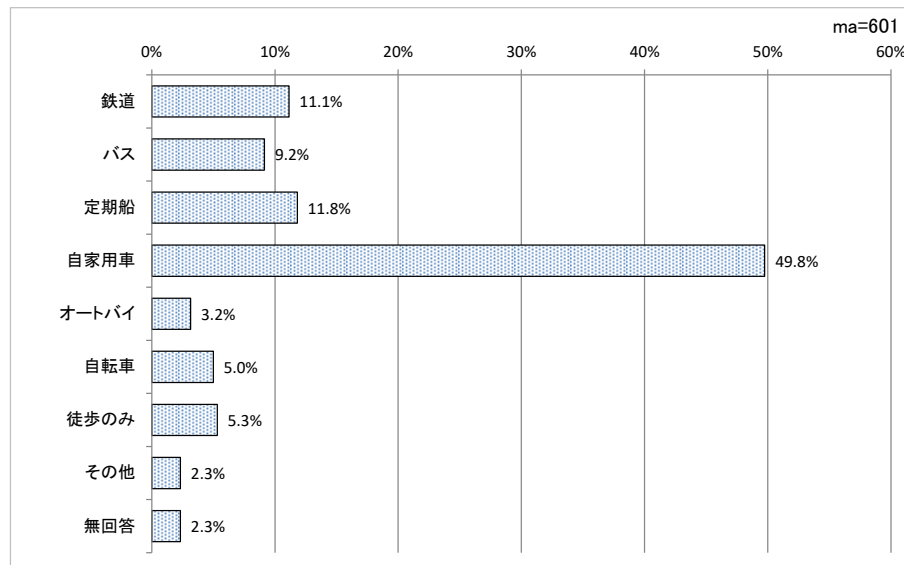
回答者の職業は、無職が 23.3%と最も高く、次いで、会社員、公務員（21.5%）、パートタイム、アルバイト、契約社員、内職などが（15.6%）となっている。



5. 交通手段

問 17 あなたが、通勤・通学、日常的なお出かけの際に利用している交通手段は次のどれですか。あてはまるものをすべて選び、その番号を○で囲んでください。

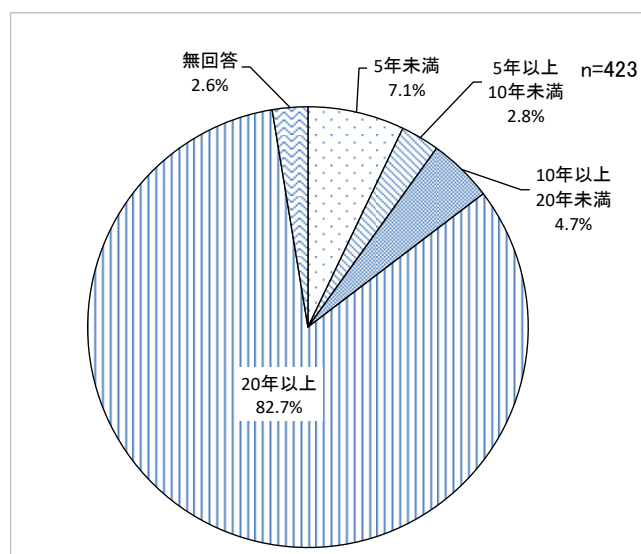
回答者の交通手段は、自家用車が 49.8%と最も高く、次いで、定期船（11.8%）、鉄道（11.1%）となっている。



6. 居住年数

問 18 あなたは鳥羽市にお住まいになってどれくらい経ちますか。

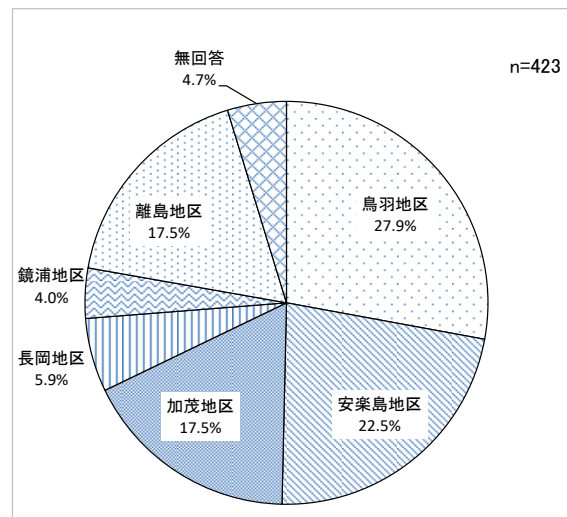
回答者の居住年数は、20 年以上が 82.7%と最も高く、次いで、5 年未満（7.1%）、10 年以上 20 年未満（4.7%）となっている。



7. 居住地区

問 19 あなたのお住まいの地区をお答えください。

回答者の居住地区は、鳥羽地区が 27.9%と最も高く、次いで、安楽島地区（22.5%）、加茂地区と離島地区がいずれも 17.5%となっている。



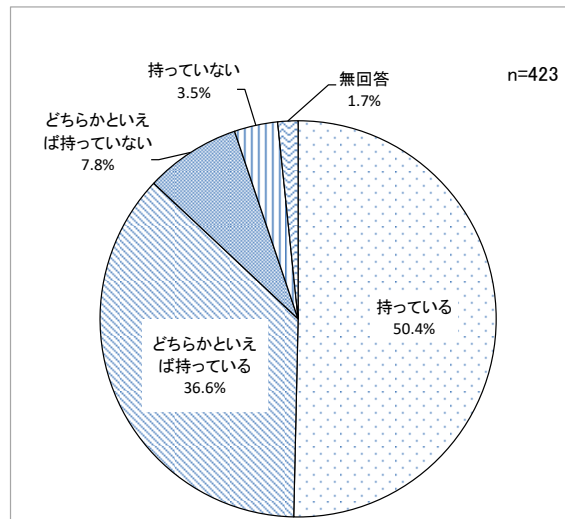
第3章 調査結果

1. 地域への愛着度

問1 あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

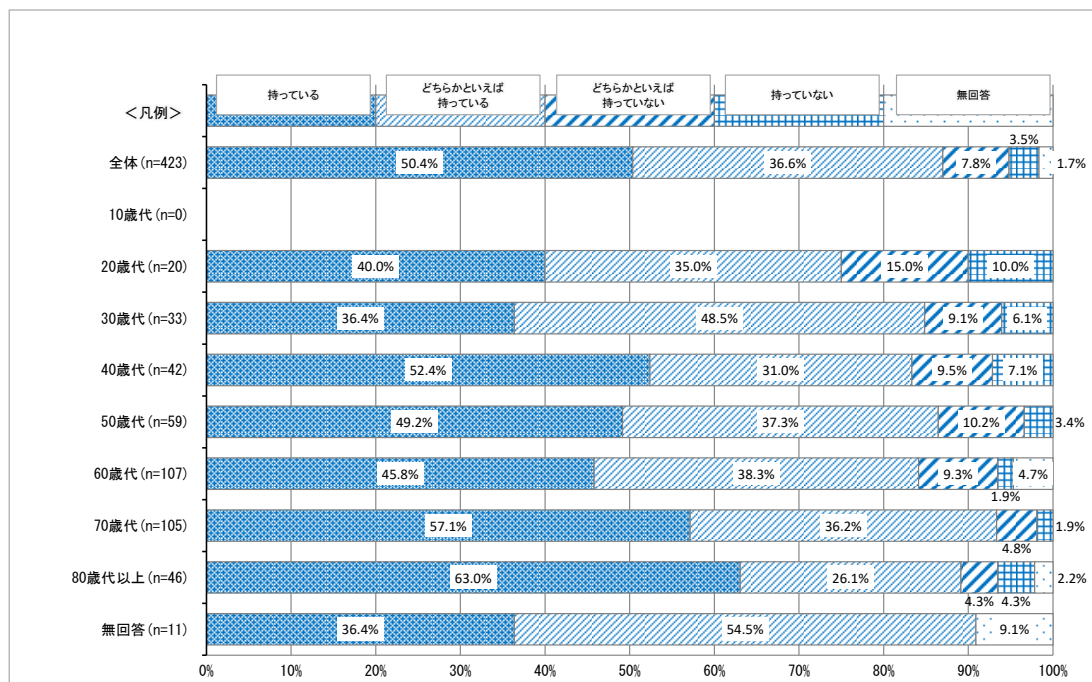
(1) 【全体】

全体では、地域への愛着を持っているが50.4%と最も高く、次いで、どちらかといえば持っている(36.6%)となっており、居住地域への愛着を持っていると回答した割合が、87.0%を占めている。



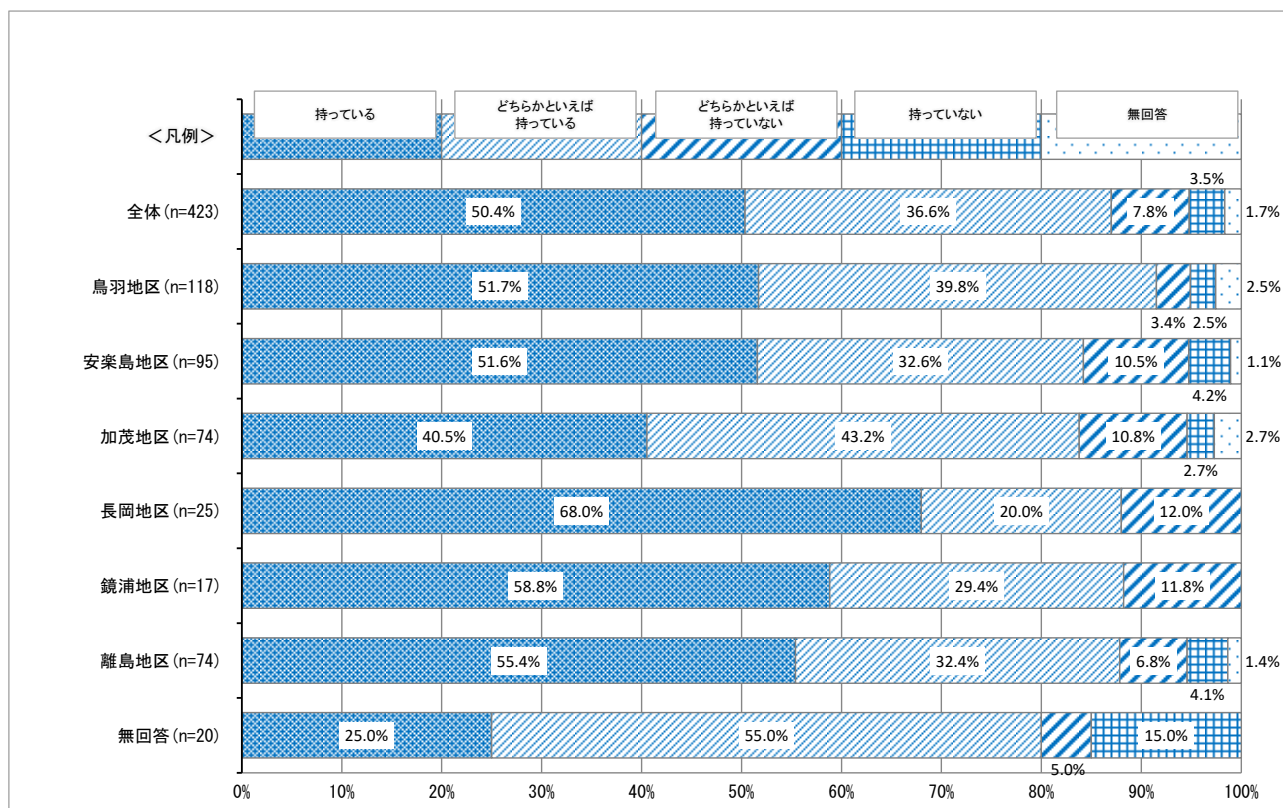
(2) 【年齢別】

年齢別では、地域への愛着を持っていると回答した割合が80歳代以上で63.0%と最も高く、次いで、70歳代(57.1%)、40歳代(52.4%)となっている。なお、持っていない、どちらかといえば持っていないと回答した割合は、20歳代で25.0%と最も高く、次いで、40歳代(16.6%)、30歳代(15.2%)、50歳代(13.6%)が全体値を上回っている。



(3) 【地区別】

地区別では、地域への愛着を持っていると回答した割合が長岡地区で 68.0%と最も高く、次いで、鏡浦地区 (58.8%)、離島地区 (55.4%) となっている。なお、持っていない、どちらかといえば持っていないと回答した割合は、安楽島地区で 14.7%と最も高く、次いで、加茂地区 (13.5%)、長岡地区 (12.0%)、鏡浦地区 (11.8%) が全体値を上回っている。

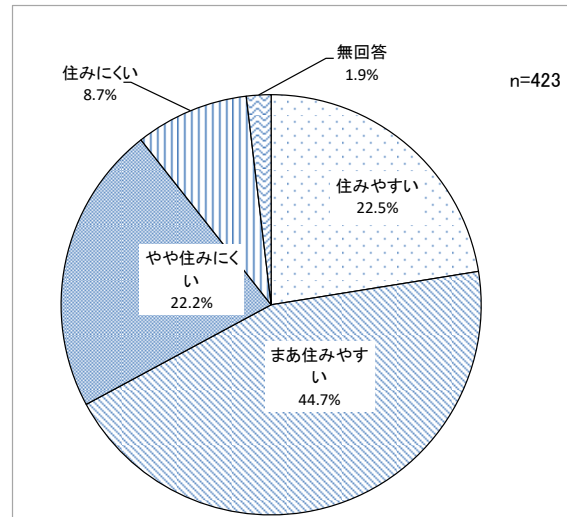


2. 住みやすさ

問2 あなたにとって、鳥羽市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

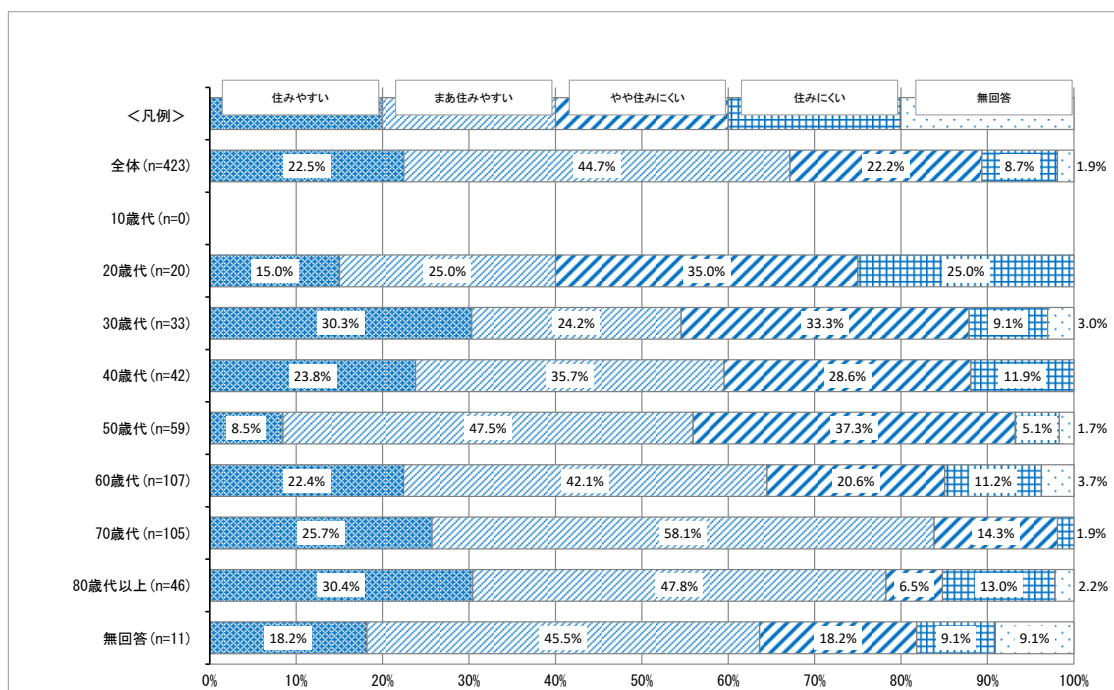
(1) 【全体】

全体では、まあ住みやすいが44.7%と最も高く、次いで、住みやすい(22.5%)となっており、鳥羽市は住みやすいと回答した割合が、67.2%を占めている。



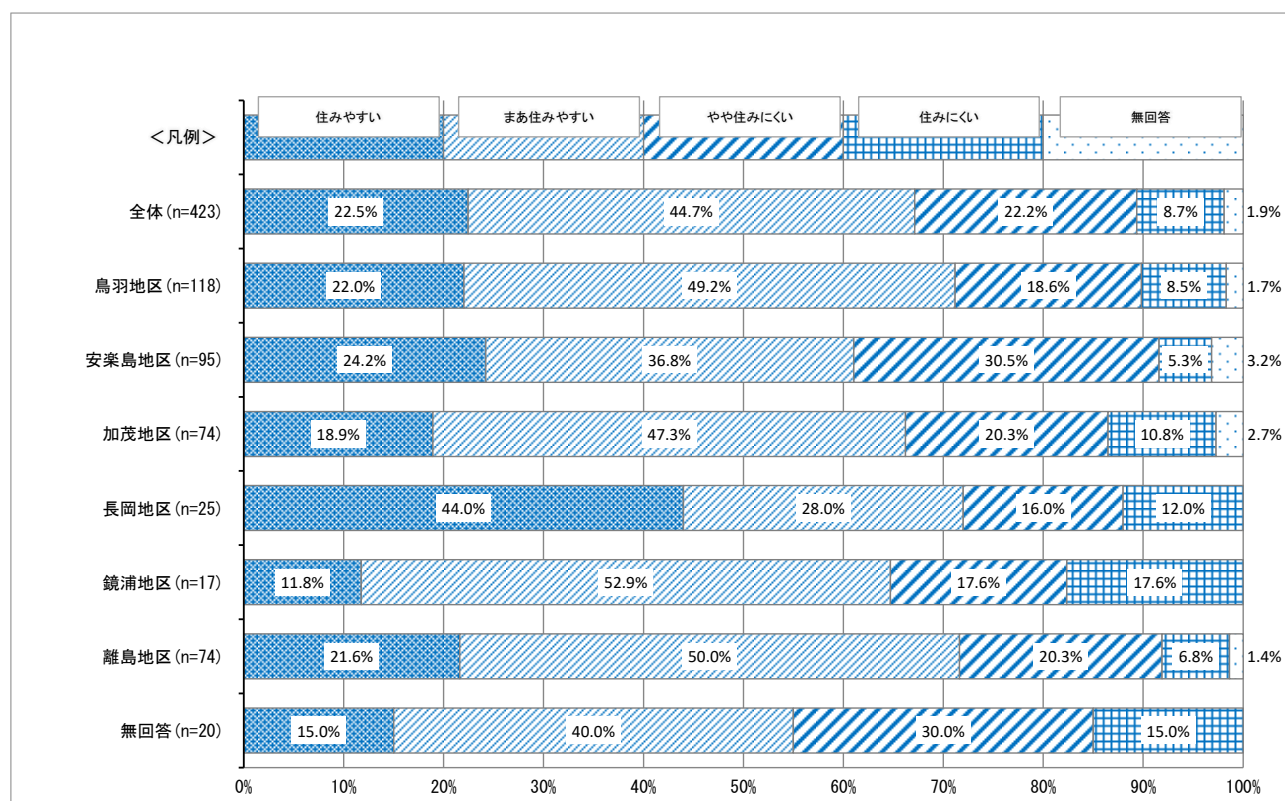
(2) 【年齢別】

年齢別では、住みやすいと回答した割合が80歳代以上で30.4%と最も高く、次いで、30歳代(30.3%)、70歳代(25.7%)となっている。なお、住みにくい、やや住みにくいと回答した割合は、20歳代で60.0%と最も高く、次いで、30歳代(42.4%)、50歳代(42.4%)、40歳代(40.5%)、60歳代(31.8%)が全体値を上回っている。



(3) 【地区別】

地区別では、住みやすいと回答した割合が長岡地区で 44. 0%と最も高く、次いで、安楽島地区 (24. 2%)、鳥羽地区 (22. 0%) となっている。なお、住みにくい、やや住みにくいと回答した割合は、安楽島地区で 35. 8%と最も高く、次いで、鏡浦地区 (35. 2%)、加茂地区 (31. 1%) が全体値を上回っている。



3. 定住意向とその要因

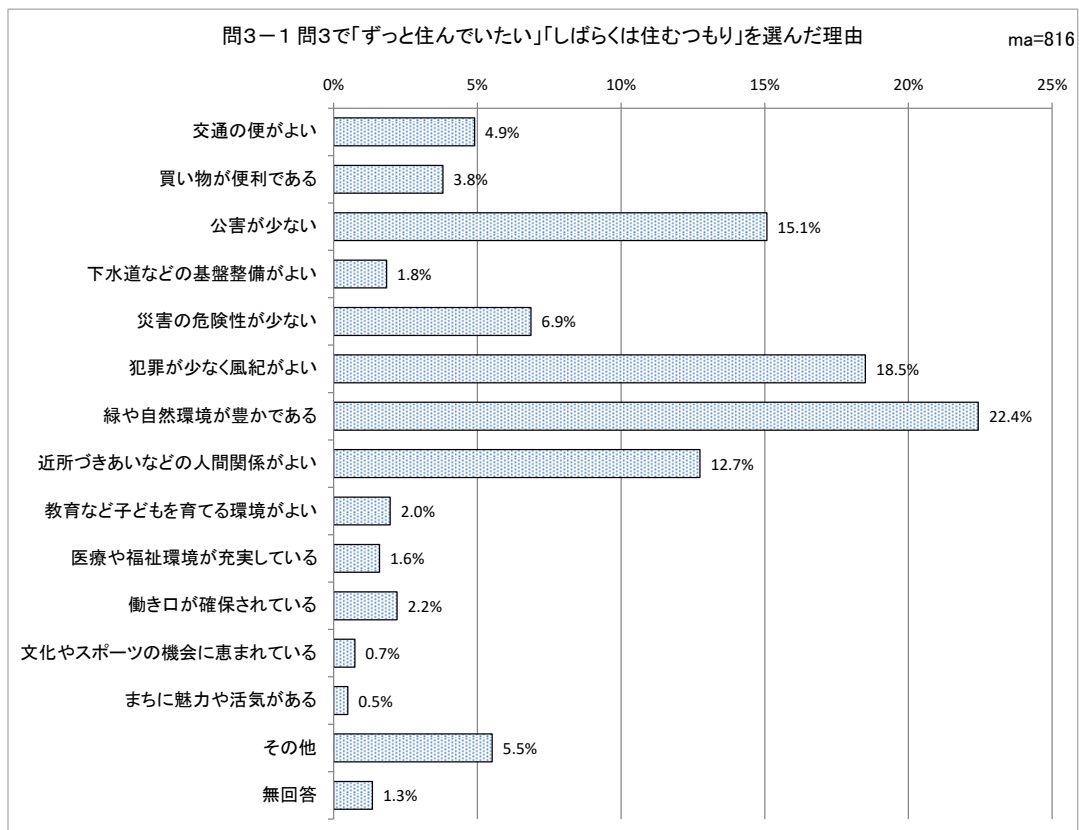
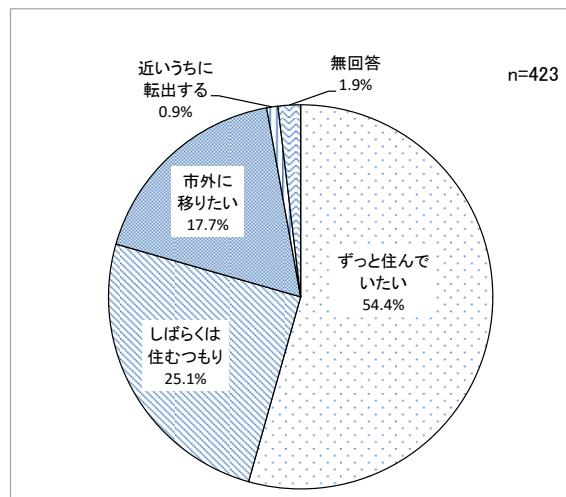
問3 あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

(1) 【全体】

全体では、ずっと住んでいたいのが54.4%と最も高く、次いで、しばらくは住むつもり（25.1%）となっており、定住意向があると回答した割合が、79.5%を占めている。

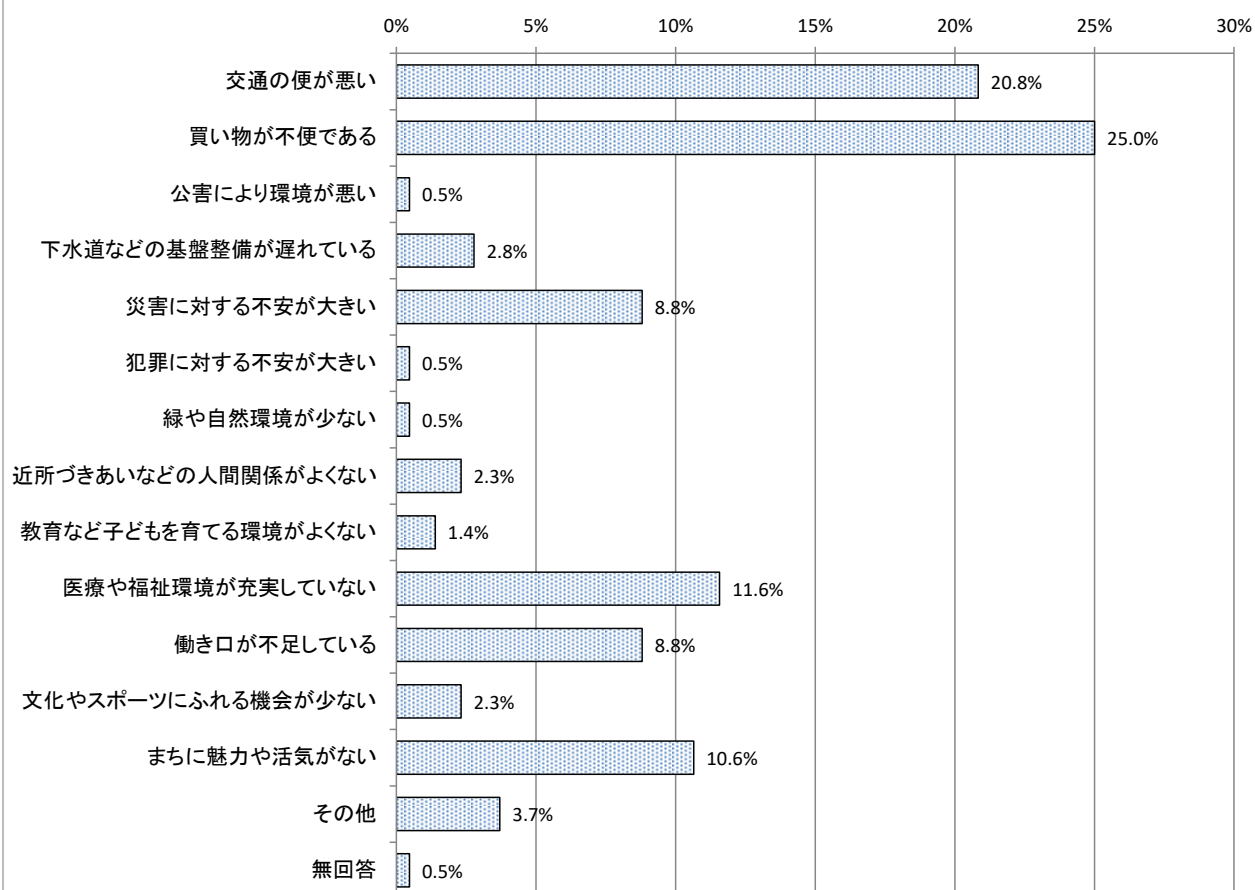
定住以降の理由については、緑や自然環境が豊かであるが22.4%と最も高く、次いで、犯罪が少なく風紀が良い（18.5%）、公害が少ない（15.1%）となっている。

転出意向の理由については、買い物が不便であるが25.0%と最も高く、次いで、交通の便が悪い（20.8%、医療や福祉環境が充実していない（11.6%）となっている。



問3-2 問3で「市外に移りたい」「近いうちに転出する」を選んだ理由

ma=216

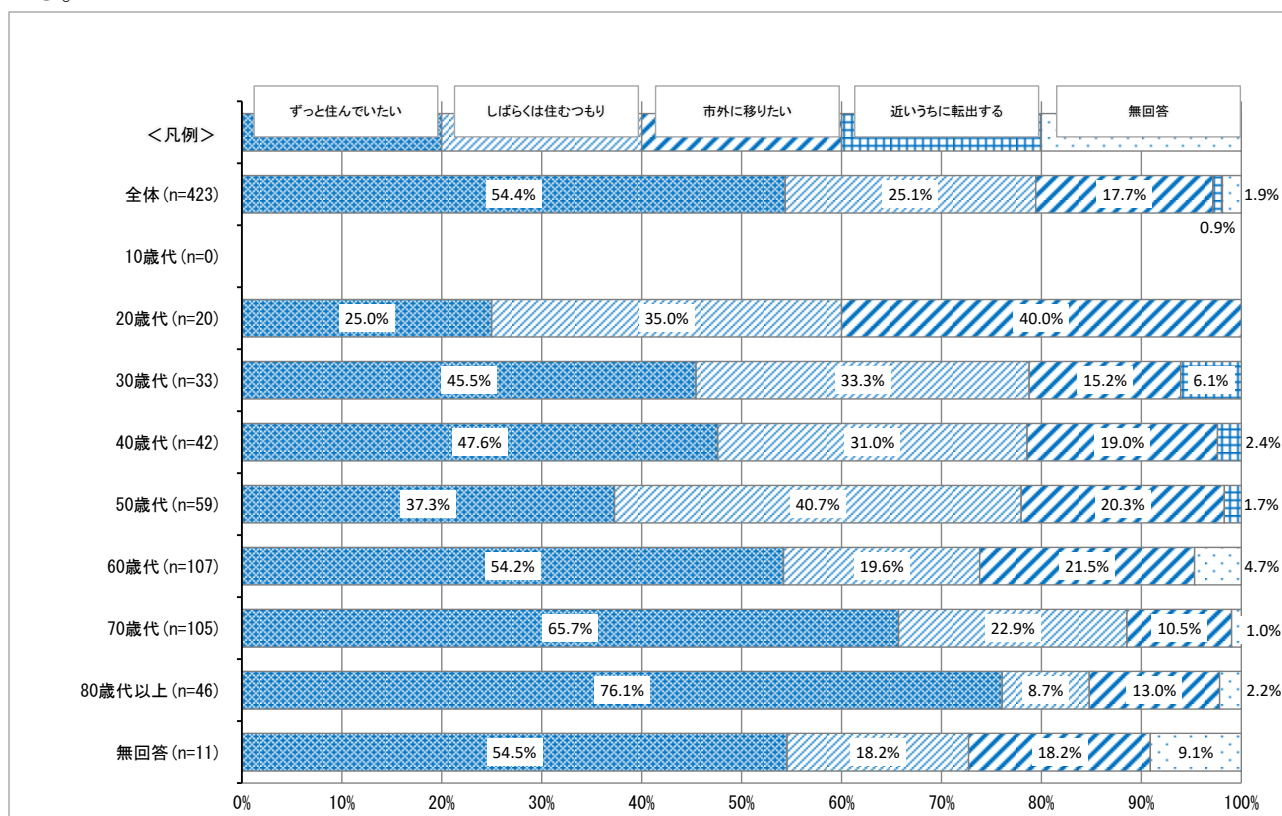


(2) 【年齢別】

年齢別では、ずっと住んでいたいと回答した割合が80歳代以上で76.1%と最も高く、次いで、70歳代(65.7%)、60歳代(54.2%)となっている。なお、近いうちに転出する、市外に移りたいと回答した割合は、20歳代で40.0%と最も高く、次いで、60歳代(21.5%)、50歳代(20.3%)、40歳代(19.0%)、30歳代(15.2%)が全体値を上回っている。

定住以降の理由については、すべての年齢層で緑や自然環境が豊かであると、犯罪が少なく風紀が良いが高くなっている。

転出意向の理由については、すべての年齢層で買い物が不便であると交通の便が悪いが高くなっている。また、20歳代と30歳代では働き口が不足していると医療や福祉環境が充実していないも高くなっている。



	問3-1 住んでいたいのはどういった理由からですか。														
	交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	教育など子どもを育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	働き口が確保されている	文化やスポーツの機会に恵まれる	まちに魅力や活力がある	その他	無回答
全体 (n=816)	4.9%	3.8%	15.1%	1.8%	6.9%	18.5%	22.4%	12.7%	2.0%	1.6%	2.2%	0.7%	0.5%	5.5%	1.3%
10歳代 (n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代 (n=27)	7.4%	0.0%	18.5%	0.0%	0.0%	22.2%	25.9%	7.4%	7.4%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%	0.0%
30歳代 (n=57)	5.3%	3.5%	3.5%	0.0%	3.5%	17.5%	24.6%	19.3%	7.0%	1.8%	3.5%	0.0%	3.5%	5.3%	1.8%
40歳代 (n=64)	3.1%	0.0%	10.9%	0.0%	6.3%	21.9%	25.0%	10.9%	3.1%	0.0%	4.7%	0.0%	1.6%	7.8%	4.7%
50歳代 (n=102)	3.9%	3.9%	15.7%	0.0%	2.0%	21.6%	23.5%	10.8%	2.9%	1.0%	4.9%	1.0%	0.0%	7.8%	1.0%
60歳代 (n=200)	5.0%	3.5%	17.0%	2.0%	7.5%	17.5%	23.5%	10.5%	2.0%	0.5%	2.5%	1.5%	0.5%	6.0%	0.5%
70歳代 (n=239)	5.0%	4.6%	16.3%	2.9%	7.5%	18.0%	19.7%	14.2%	0.0%	3.8%	0.8%	0.8%	0.0%	5.0%	1.3%
80歳代以上 (n=106)	5.7%	6.6%	15.1%	2.8%	12.3%	17.0%	21.7%	14.2%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.9%
無回答 (n=21)	4.8%	0.0%	19.0%	4.8%	9.5%	14.3%	23.8%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%

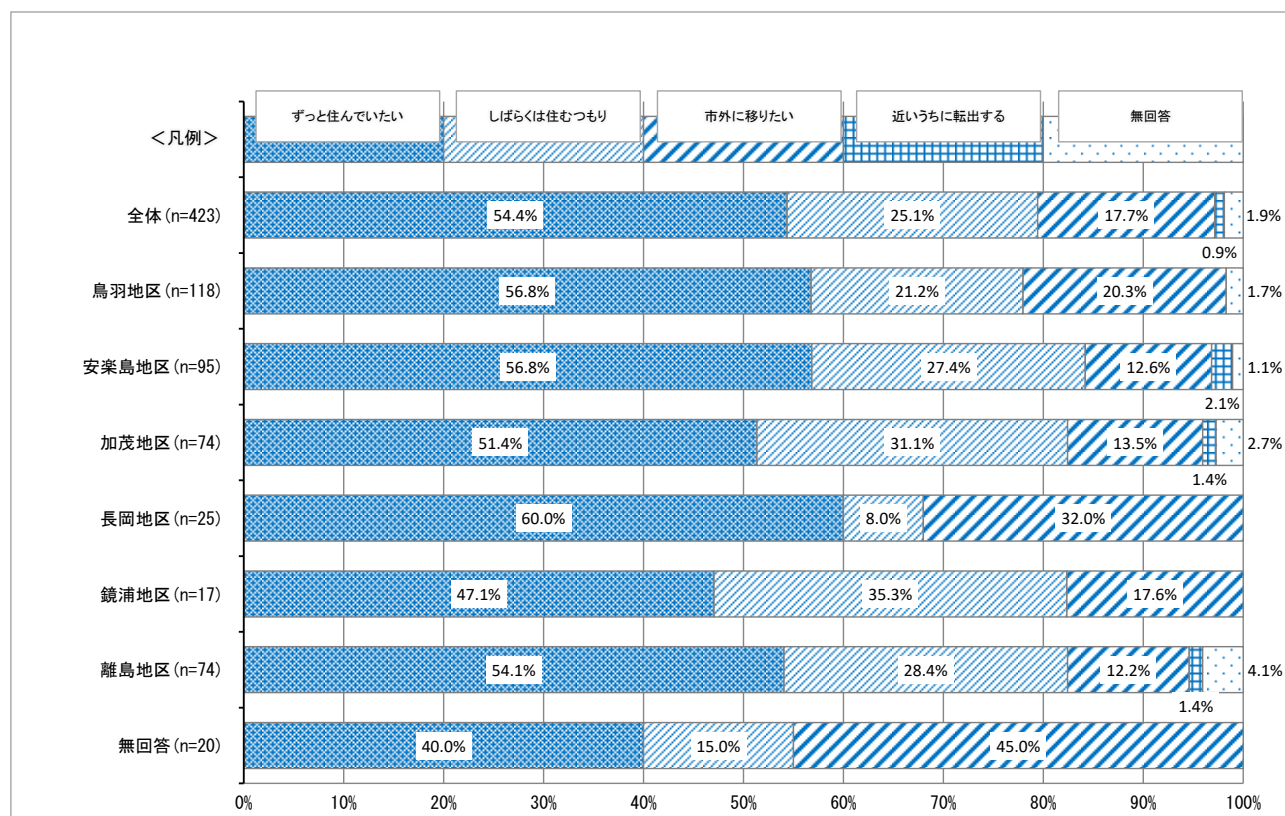
	問3-2 転出したいのはどういった理由からですか。														
	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよくない	教育など子どもを育てる環境がよくない	医療や福祉環境が充実していない	働き口が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちに魅力や活力がない	その他	無回答
全体 (n=216)	20.8%	25.0%	0.5%	2.8%	8.8%	0.5%	0.5%	2.3%	1.4%	11.6%	8.8%	2.3%	10.6%	3.7%	0.5%
10歳代 (n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代 (n=24)	16.7%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%
30歳代 (n=18)	22.2%	27.8%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%
40歳代 (n=23)	21.7%	26.1%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	8.7%	4.3%	0.0%	8.7%	4.3%	4.3%
50歳代 (n=34)	26.5%	23.5%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	8.8%	0.0%	14.7%	14.7%	0.0%
60歳代 (n=67)	16.4%	23.9%	0.0%	6.0%	10.4%	1.5%	0.0%	3.0%	1.5%	11.9%	7.5%	3.0%	13.4%	1.5%	0.0%
70歳代 (n=29)	24.1%	31.0%	3.4%	3.4%	6.9%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	10.3%	0.0%	3.4%	10.3%	0.0%	0.0%
80歳代以上 (n=16)	31.3%	25.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%
無回答 (n=5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 【地区別】

地区別では、ずっと住んでいたいと回答した割合が長岡地区で 60.0%と最も高く、次いで、鳥羽地区と安楽島地区がいずれも 56.8%となっている。なお、近いうちに転出する、市外に移りたいと回答した割合は、長岡地区で 32.0%と最も高く、次いで、鳥羽地区（20.3%）が全体値を上回っている。

定住以降の理由については、すべての地区で緑や自然環境が豊かであると、犯罪が少なく風紀が良い、公害が少ないが高くなっている。

転出意向の理由については、すべての年齢層で買い物が不便であると交通の便が悪いが高くなっている。また、安楽島地区ではまさに魅力や活気がない、長岡地区では災害に対する不安が大きい、鏡浦地区では働き口が不足しているも高くなっている。



問3-1 住んでいたいのはどういった理由からですか。															
	交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	教育など子どもを育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	働き口が確保されている	文化やスポーツの機会に恵まれている	まちに魅力や活気がある	その他	無回答
全体(n=816)	4.9%	3.8%	15.1%	1.8%	6.9%	18.5%	22.4%	12.7%	2.0%	1.6%	2.2%	0.7%	0.5%	5.5%	1.3%
鳥羽地区(n=237)	8.4%	3.8%	16.5%	2.1%	7.6%	16.9%	21.9%	12.2%	0.0%	0.4%	3.0%	0.0%	0.8%	5.9%	0.4%
安楽島地区(n=175)	4.0%	8.0%	10.9%	1.1%	6.3%	13.7%	24.0%	12.0%	4.0%	2.9%	2.9%	2.3%	0.6%	5.7%	1.7%
加茂地区(n=146)	6.8%	2.7%	15.8%	0.7%	6.8%	16.4%	27.4%	12.3%	1.4%	0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	4.8%	2.7%
長岡地区(n=46)	2.2%	2.2%	10.9%	10.9%	10.9%	28.3%	17.4%	10.9%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
鏡浦地区(n=34)	2.9%	2.9%	14.7%	0.0%	2.9%	17.6%	26.5%	11.8%	2.9%	0.0%	5.9%	2.9%	0.0%	8.8%	0.0%
離島地区(n=154)	0.6%	1.3%	17.5%	1.3%	6.5%	26.0%	15.6%	14.9%	3.9%	3.2%	1.9%	0.0%	0.6%	5.2%	1.3%
無回答(n=24)	0.0%	0.0%	20.8%	0.0%	4.2%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%

問3-2 転出したいのはどういった理由からですか。															
	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよくない	教育など子どもを育てる環境が悪い	医療や福祉環境が充実していない	働き口が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちに魅力や活気がない	その他	無回答
全体(n=216)	20.8%	25.0%	0.5%	2.8%	8.8%	0.5%	0.5%	2.3%	1.4%	11.6%	8.8%	2.3%	10.6%	3.7%	0.5%
鳥羽地区(n=69)	18.8%	27.5%	0.0%	4.3%	10.1%	1.4%	0.0%	2.9%	2.9%	7.2%	7.2%	2.9%	11.6%	2.9%	0.0%
安楽島地区(n=37)	21.6%	24.3%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%	2.7%	2.7%	0.0%	13.5%	5.4%	0.0%	21.6%	2.7%	0.0%
加茂地区(n=30)	20.0%	20.0%	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%	6.7%	3.3%	16.7%	10.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
長岡地区(n=20)	15.0%	25.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	5.0%	5.0%	5.0%	10.0%	0.0%
鏡浦地区(n=9)	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
離島地区(n=24)	29.2%	33.3%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	8.3%	0.0%	4.2%	4.2%	4.2%
無回答(n=27)	22.2%	18.5%	0.0%	3.7%	14.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.8%	14.8%	3.7%	0.0%	7.4%	0.0%

4. 広報利活用度

問4 あなたは鳥羽市の市政情報を入手する手段として、次の①～③それぞれについて、どの手段をどの程度利用されますか。1～5の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

(1) 【全体】

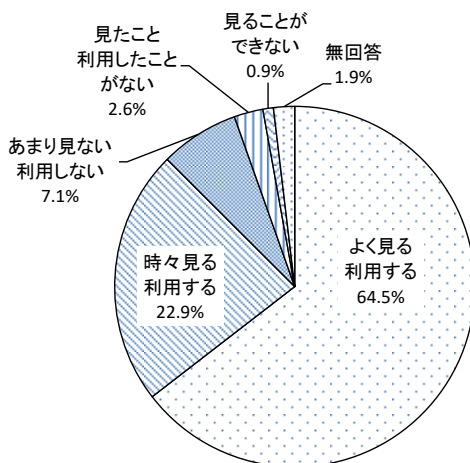
広報とばについて、よく見る、利用するが 64.5%と最も高く、次いで、時々見る、利用する (22.9%) となっており、広報とばを見ていると回答した割合が、87.4%を占めている。

行政放送について、あまり見ない、利用しないが 27.9%と最も高く、次いで、見たこと、利用したことがない (23.2%) となっており、行政放送を利用していないと回答した割合が、51.1%を占めている。

ホームページについて、見たこと、利用したことがないが 26.0%と最も高く、次いで、あまり見ない、利用しない (23.4%) となっており、ホームページを利用していないと回答した割合が、49.4%を占めている。

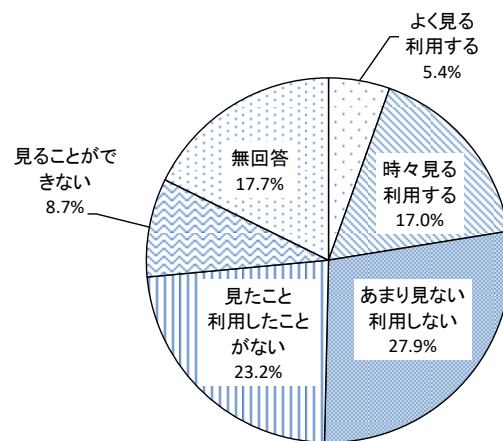
問4 ①鳥羽市の市政情報の入手手段(広報とば)

n=423



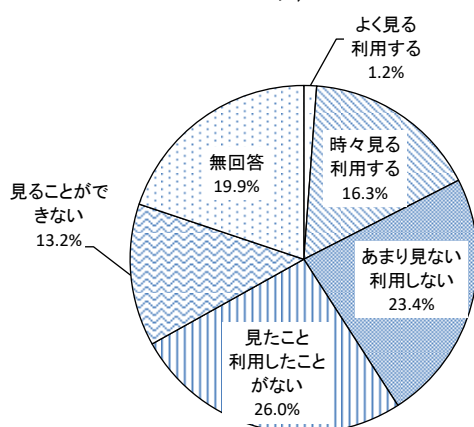
問4 ②鳥羽市の市政情報の入手手段(行政放送)

n=423



問4 ③鳥羽市の市政情報の入手手段(ホームページ)

n=423

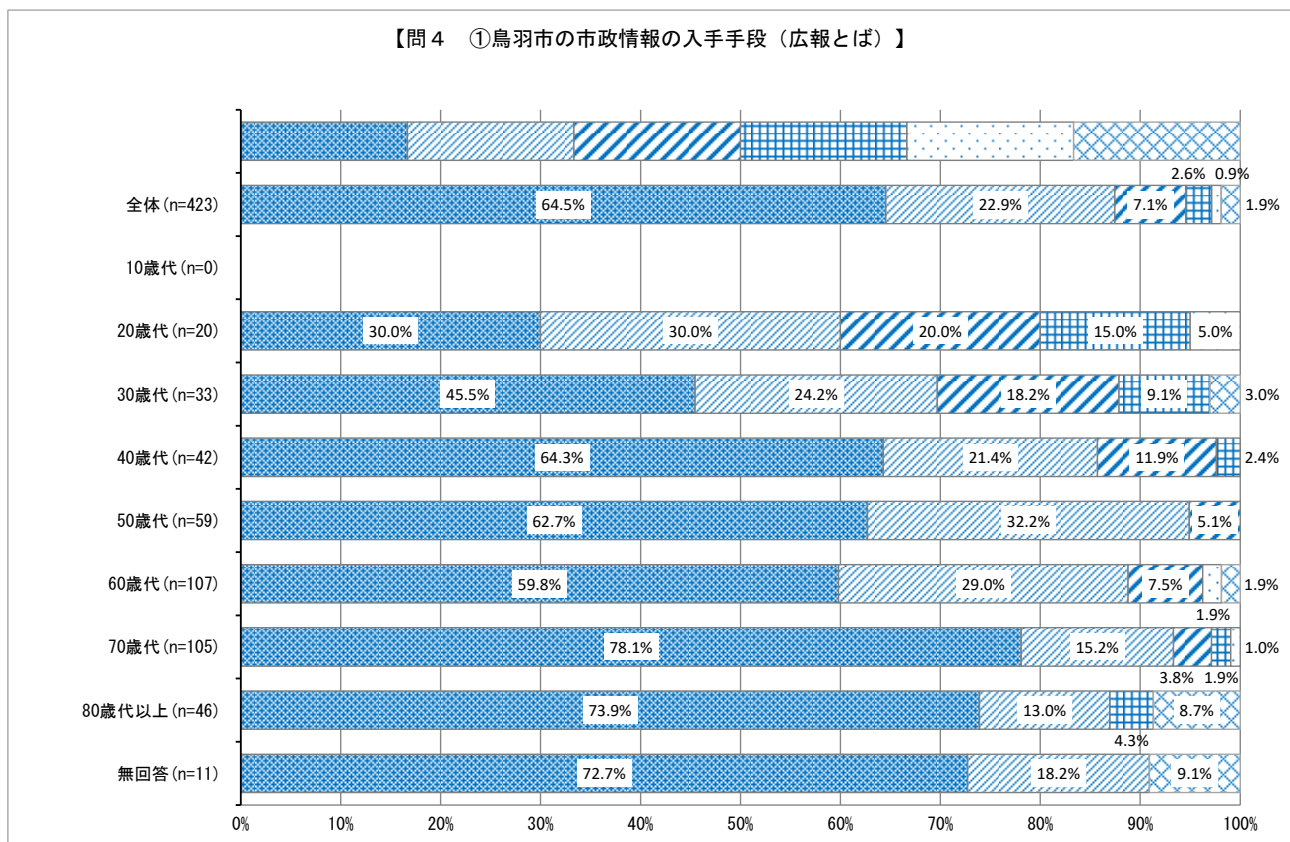


(2) 【年齢別】

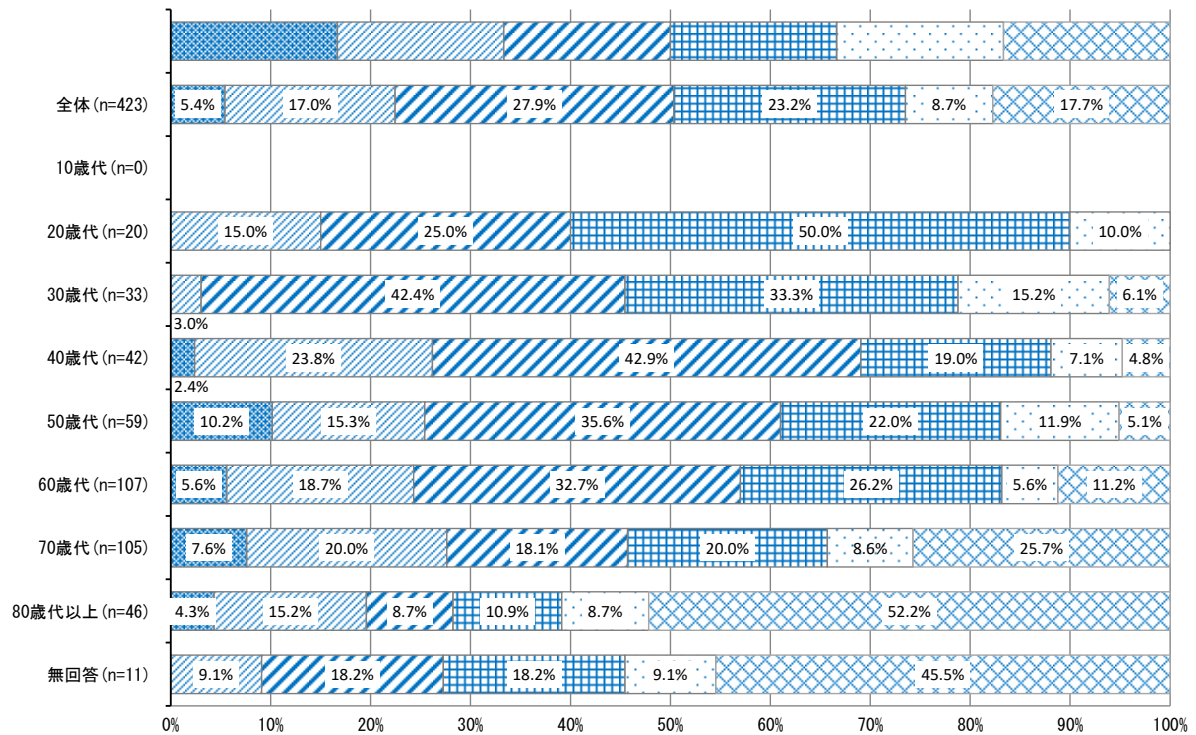
広報とばについて、よく見る、利用すると回答したのは70歳代が78.1%と最も高く、次いで、80歳代以上(73.9%)となっている。なお、見たことがない、あまり見ないと回答した割合は、20歳代で35.0%と最も高く、次いで、30歳代(27.3%)、40歳代(14.3%)が全体値を上回っている。

行政放送について、よく見る、利用すると回答したのは50歳代が10.2%と最も高く、次いで、70歳代(7.6%)となっている。なお、見たことがない、あまり見ないと回答した割合は、30歳代で75.7%と最も高く、次いで、20歳代(75.0%)、40歳代(61.9%)、60歳代(58.9%)、50歳代(57.6%)が全体値を上回っている。

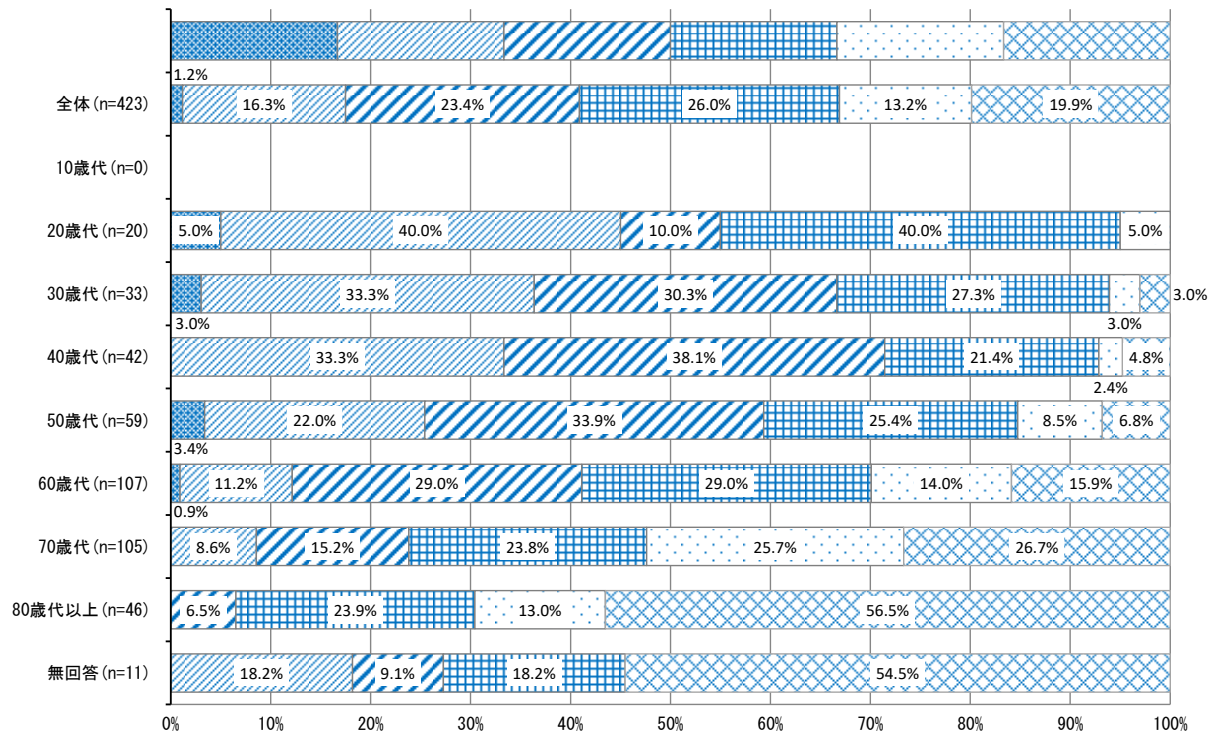
ホームページについて、よく見る、利用すると回答したのは20歳代が5.0%と最も高く、次いで、50歳代(3.4%)となっている。なお、見たことがない、あまり見ないと回答した割合は、50歳代で59.3%と最も高く、次いで、30歳代(57.6%)、40歳代(59.5%)、60歳代(58.0%)、20歳代(50.0%)が全体値を上回っている。



【問4 ②鳥羽市の市政情報の入手手段（行政放送）】



【問4 ③鳥羽市の市政情報の入手手段（ホームページ）】



5. 市職員への印象

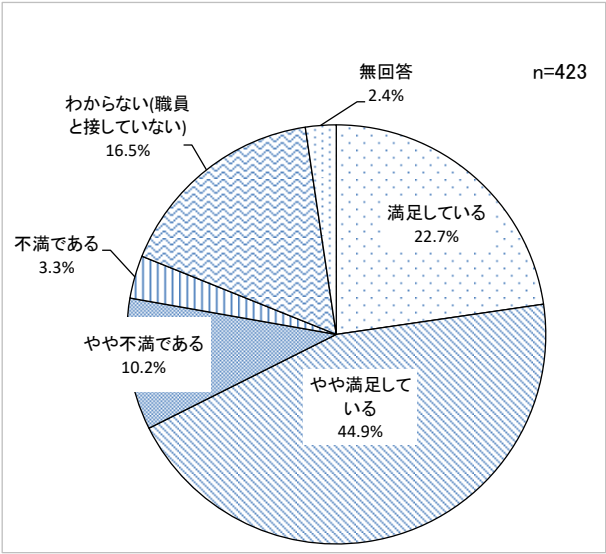
問5 あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。（来庁時、電話、市役所外の場面で職員と接した際の印象をお聞かせください）

(1) 【全体】

全体では、やや満足しているが 44.9%と最も高く、次いで、満足している（22.7%）となっており、市職員に対して満足していると回答した割合が、67.6%を占めている。なお、不満、やや不満であると回答した割合は 13.5%となっている。

満足した具体的な場面を見ると、窓口が最も高く、窓口での対応時に市職員への満足を感じたことがわかる。満足と感じた内容を見ると、窓口での親身な対応や気づかいが最も高く、ついで説明のわかりやすさとなっている。

不満を感じた具体的な場面を見ると、窓口での親身な対応や気づかいがなかったと回答した割合が最も高くなっている。



		問 5-1 問 5 で回答した市職員の印象はどのような場面でそう感じましたか。						
		電話	窓口	説明会や個別市役所外場の場面	市と関連した仕事やボランティアなどを行う際	特に場面ではなく、イメージ	その他	無回答
問 5 市職員の印象	全体 (n=343)	11.1%	55.1%	8.7%	11.7%	6.7%	3.2%	3.5%
	満足している (n=96)	14.6%	66.7%	3.1%	9.4%	3.1%	1.0%	2.1%
	やや満足している (n=190)	8.4%	56.3%	10.0%	12.6%	5.3%	2.6%	4.7%
	やや不満である (n=43)	11.6%	37.2%	11.6%	11.6%	18.6%	9.3%	0.0%
	不満である (n=14)	21.4%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%

		問5-2 市職員の印象を感じた場面で、なぜそのように感じましたか。 (市職員の印象「満足している」「やや満足している」)							
		仕事のスピードや待ち時間	正確な仕事の進め方	説明のわかりやすさ	通知文等の文章のわかりやすさ	親身な対応や気づかい	身だしなみや挨拶等の基本的なマナー	その他	無回答
問5-1 感じた場面	全体 (n=402)	10.7%	10.2%	24.6%	2.7%	35.6%	10.4%	2.2%	3.5%
	電話 (n=46)	4.3%	10.9%	43.5%	4.3%	30.4%	2.2%	2.2%	2.2%
	窓口 (n=278)	12.6%	9.4%	23.4%	1.8%	35.3%	11.5%	2.5%	3.6%
	説明会や個別訪問、行事など市役所外の場面 (n=30)	6.7%	10.0%	30.0%	3.3%	40.0%	6.7%	0.0%	3.3%
	市と関連した仕事やボランティアなどを行う際 (n=48)	8.3%	14.6%	10.4%	6.3%	39.6%	14.6%	2.1%	4.2%

		問5-2 市職員の印象を感じた場面で、なぜそのように感じましたか。 (市職員の印象「やや不満である」「不満である」)							
		仕事のスピードや待ち時間	正確な仕事の進め方	説明のわかりやすさ	通知文等の文章のわかりやすさ	親身な対応や気づかい	身だしなみや挨拶等の基本的なマナー	その他	無回答
全体 (n=85)		12.9%	12.9%	12.9%	7.1%	24.7%	11.8%	16.5%	1.2%
電話 (n=17)		17.6%	5.9%	23.5%	0.0%	23.5%	5.9%	23.5%	0.0%
窓口 (n=37)		10.8%	13.5%	2.7%	10.8%	29.7%	18.9%	13.5%	0.0%
説明会や個別訪問、行事など市役所外の場面 (n=15)		6.7%	6.7%	33.3%	6.7%	20.0%	6.7%	13.3%	6.7%
市と関連した仕事やボランティアなどを行う際 (n=16)		18.8%	25.0%	6.3%	6.3%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%

6. 施策別満足度・重要度

問6 本市では、将来都市像の『真珠のようにきらり輝く鳥羽(まち)』を実現するために、以下に挙げるような「目標」と「めざすまちの姿」を設定して、施策を推進しています。こうした取り組みについて、現在あなたはどの程度満足され、どの程度重要視されていますか？満足度・重要度ともに5段階で評価し、それぞれ1～5の中から1つ選んで、その番号を○で囲んでください。(取り組みの内容を知らない場合や、全く関心がない場合は、「6. わからない」を選んでください。)

(1) 【重要度】

(ア) <令和(R)元年度>

施策目標に対する市民の重要度は次のとおりである。上位には、「安全で安定した水を提供する」、「安心できる社会保障制度を運営する」、「消防・救急体制を充実する」、「いざというときの受診体制を整える」、「災害から市民生活を守る」が挙がっており、下位には「市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる」、「地域づくりに歴史文化を活かす」、「協働のための仕組みをつくる」、「農業に触れる機会をつくる」、「安らぎの感じられる住環境をつくる」などが挙がっている。

(イ) <平成(H)30年度との比較>

前回調査との比較で重要度が増したものとしては、「伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる」、「安心できる社会保障制度を運営する」、「スポーツを通じて健全な心と体を育てる」、「多様な個性や文化を認め合う精神を育てる」、「多様な個性や文化を認め合う精神を育てる」、「緑豊かなまちをまもる」などが挙げられる。

逆に重要度が下がったものとして、「若者の地元での就職や起業を支える」、「将来性のある企業活動・ビジネスを育てる」、「いざという時の受診体制を整える」、「質の高い市民サービスを追及する」、「海洋文化都市としての資源に磨きをかける」などが挙がっている。

重点施策について

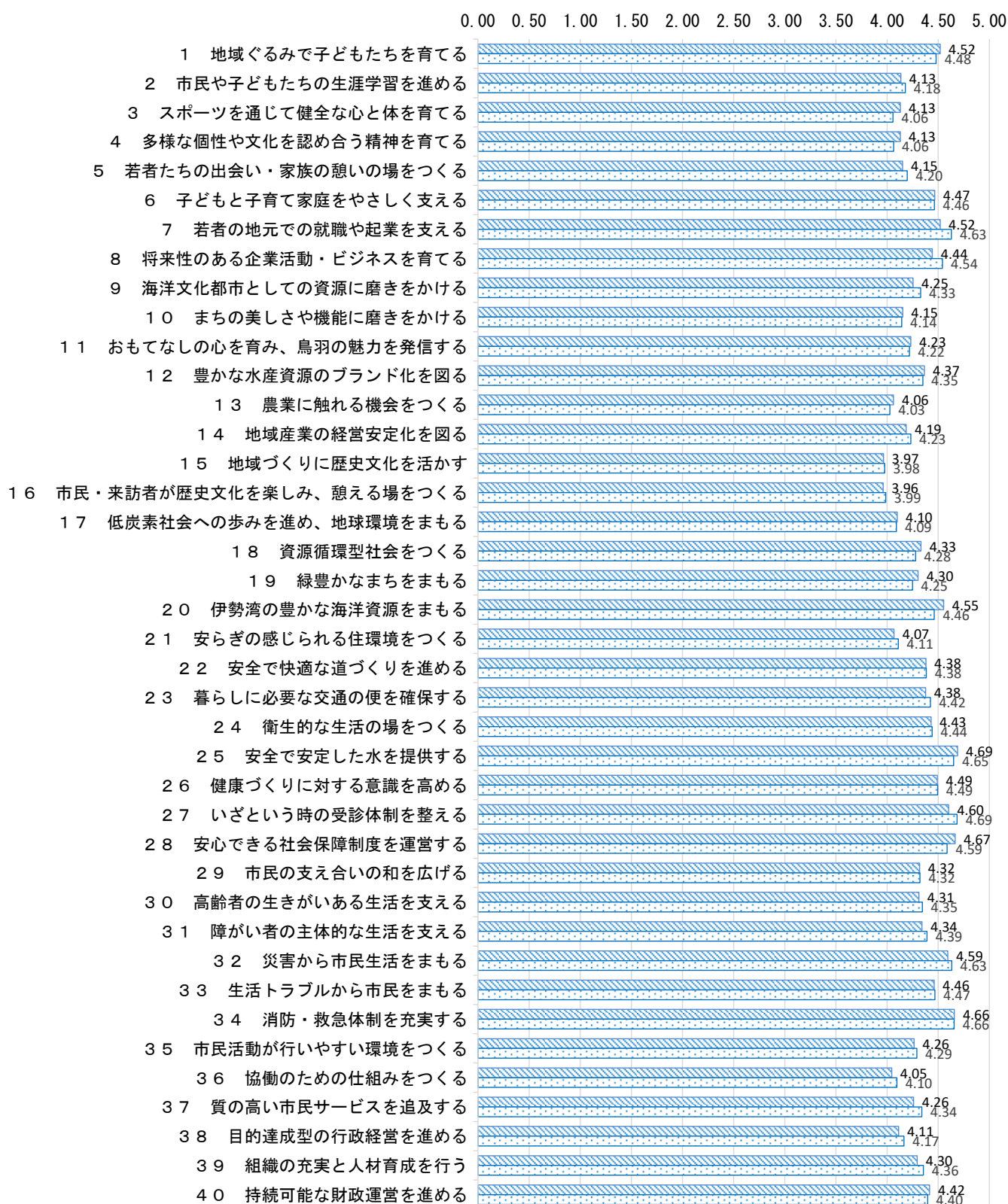
以降で掲載するグラフのうち、以下の施策目標は、第五次鳥羽市総合計画後期基本計画における重点施策である。

めざすまちの姿	まちづくり目標	施策目標
1.学びたい・働きたい・住み続けたいという思いが育つまち	1-1【人材育成】 市民の郷土愛を育てよう	1 地域ぐるみで子どもたちを育てる 3 スポーツを通じて健全な心と体を育てる
	1-2【結婚・子育て】 家族や恋人との愛を育てよう	5 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる 6 子どもと子育て家庭をやさしく支える
	1-3【雇用・就業】 若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	7 若者の地元での就職や起業を支える
2.鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち	2-1【観光交流】 自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	9 海洋文化都市としての資源に磨きをかける 10 まちの美しさや機能に磨きをかける 11 おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する
	2-2【産業振興】 地域資源の豊かさをわかちあおう	12 豊かな水産資源のブランド化を図る 13 農業に触れる機会をつくる 14 地域産業の経営安定化を図る
	2-3【歴史文化】 地域文化の奥深さをわかちあおう	16 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる
3.自然と調和した営みが広がるまち	3-1【環境保全】 地球にやさしい暮らしを広げよう	17 低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる
	3-2【自然共生】 自然をまもる気持ちや活動を広げよう	20 伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる
	3-3【生活環境】 鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	22 暮らしに必要な交通の便を確保する
4.生きがいや安心をみんなで作るまち	4-1【保健医療】 みんなで健康な心と体をつくろう	—
	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	—
	4-3【安全・安心】 みんなが安心できる生活の場をつくろう	32 災害から市民生活をまもる
5.無駄なく、効果の高い行政経営が進むまち	5-1【協働】 みんなの心と力を合わせたまちづくりを進めよう	35 市民活動が行いやすい環境をつくる
	5-2【行政経営】 効率的で心のこもった行政経営を進めよう	—

施策目標	重要度			
	R 1	H 3 0	参考： H 2 9	差 H30→R1
1 地域ぐるみで子どもたちを育てる	4.52	4.48	4.46	0.04
2 市民や子どもたちの生涯学習を進める	4.13	4.18	4.14	▲ 0.04
3 スポーツを通じて健全な心と体を育てる	4.13	4.06	4.05	0.07
4 多様な個性や文化を認め合う精神を育てる	4.13	4.06	4.16	0.07
5 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	4.15	4.20	4.22	▲ 0.05
6 子どもと子育て家庭をやさしく支える	4.47	4.46	4.48	0.00
7 若者の地元での就職や起業を支える	4.52	4.63	4.58	▲ 0.11
8 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる	4.44	4.54	4.53	▲ 0.10
9 海洋文化都市としての資源に磨きをかける	4.25	4.33	4.30	▲ 0.07
10 まちの美しさや機能に磨きをかける	4.15	4.14	4.13	0.01
11 おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する	4.23	4.22	4.20	0.01
12 豊かな水産資源のブランド化を図る	4.37	4.35	4.37	0.02
13 農業に触れる機会をつくる	4.06	4.03	4.12	0.04
14 地域産業の経営安定化を図る	4.19	4.23	4.20	▲ 0.04
15 地域づくりに歴史文化を活かす	3.97	3.98	3.96	▲ 0.01
16 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる	3.96	3.99	4.04	▲ 0.03
17 低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる	4.10	4.09	4.05	0.01
18 資源循環型社会をつくる	4.33	4.28	4.14	0.05
19 緑豊かなまちをまもる	4.30	4.25	4.24	0.05
20 伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる	4.55	4.46	4.42	0.09
21 安らぎの感じられる住環境をつくる	4.07	4.11	4.05	▲ 0.04
22 安全で快適な道づくりを進める	4.38	4.38	4.34	▲ 0.00
23 暮らしに必要な交通の便を確保する	4.38	4.42	4.39	▲ 0.05
24 衛生的な生活の場をつくる	4.43	4.44	4.38	▲ 0.01
25 安全で安定した水を提供する	4.69	4.65	4.64	0.04
26 健康づくりに対する意識を高める	4.49	4.49	4.52	▲ 0.00
27 いざという時の受診体制を整える	4.60	4.69	4.63	▲ 0.08
28 安心できる社会保障制度を運営する	4.67	4.59	4.53	0.08
29 市民の支え合いの和を広げる	4.32	4.32	4.29	▲ 0.00
30 高齢者の生きがいある生活を支える	4.31	4.35	4.36	▲ 0.03
31 障がい者の主体的な生活を支える	4.34	4.39	4.35	▲ 0.05
32 災害から市民生活をまもる	4.59	4.63	4.68	▲ 0.04
33 生活トラブルから市民をまもる	4.46	4.47	4.63	▲ 0.01
34 消防・救急体制を充実する	4.66	4.66	4.48	0.00
35 市民活動が行いやすい環境をつくる	4.26	4.29	4.23	▲ 0.03
36 協働のための仕組みをつくる	4.05	4.10	4.04	▲ 0.05
37 質の高い市民サービスを追及する	4.26	4.34	4.33	▲ 0.08
38 目的達成型の行政経営を進める	4.11	4.17	4.12	▲ 0.05
39 組織の充実と人材育成を行う	4.30	4.36	4.29	▲ 0.06
40 持続可能な財政運営を進める	4.42	4.40	4.33	0.02
全体平均	4.32	4.33	4.31	▲ 0.01

施策別重要度 経年比較（R1/H30）

■ R1 ■ H30



(2) 【満足度】

(ア) <R 元年度>

施策目標に対する市民の満足度は次のとおりである。上位には、「安全で安定した水を提供する」、「健康づくりに対する意識を高める」、「消防・救急体制を充実する」、「地域ぐるみで子どもたちを育てる」、「資源循環型社会をつくる」などが挙げられている。

(イ) <H30 年度との比較>

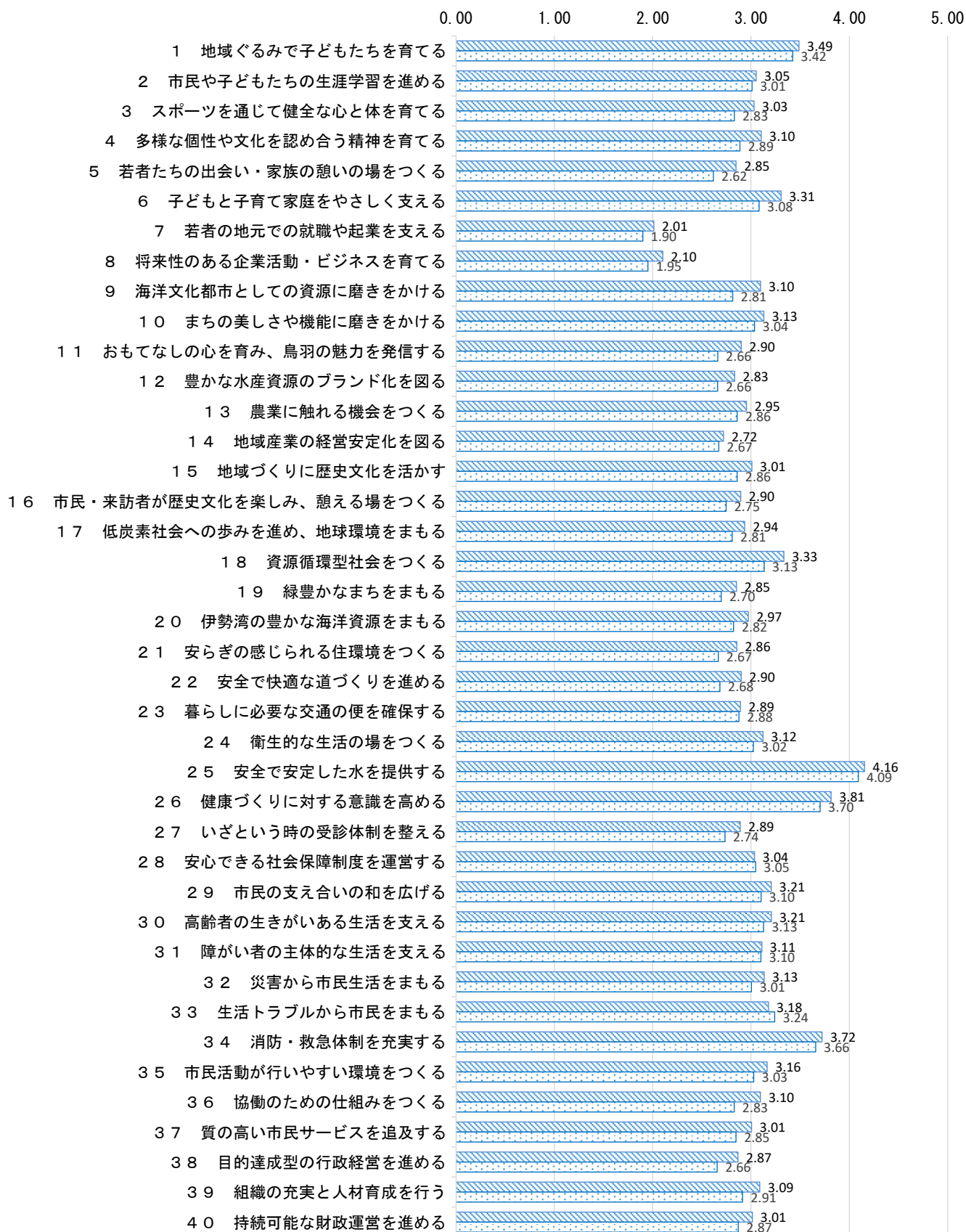
前回調査との比較で、満足度が増したのものとしては、「海洋文化都市としての資源に磨きをかける」、「協働のための仕組みをつくる」、「おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する」、「若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる」、「子どもと子育て家庭をやさしく支える」、「多様な個性や文化を認め合う精神を育てる」などが挙げられる。

逆に満足度が下がったものとして、「生活トラブルから市民をまもる」、「安心できる社会保障制度を運営する」が挙げられている。

施策目標	満足度			
	R 1	H 3 0	H 2 9	差 H30→R1
1 地域ぐるみで子どもたちを育てる	3.49	3.42	3.34	0.06
2 市民や子どもたちの生涯学習を進める	3.05	3.01	2.95	0.04
3 スポーツを通じて健全な心と体を育てる	3.03	2.83	2.80	0.20
4 多様な個性や文化を認め合う精神を育てる	3.10	2.89	2.94	0.22
5 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	2.85	2.62	2.67	0.23
6 子どもと子育て家庭をやさしく支える	3.31	3.08	3.12	0.22
7 若者の地元での就職や起業を支える	2.01	1.90	1.92	0.11
8 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる	2.10	1.95	2.01	0.15
9 海洋文化都市としての資源に磨きをかける	3.10	2.81	3.01	0.28
10 まちの美しさや機能に磨きをかける	3.13	3.04	3.13	0.10
11 おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する	2.90	2.66	2.86	0.24
12 豊かな水産資源のブランド化を図る	2.83	2.66	2.69	0.17
13 農業に触れる機会をつくる	2.95	2.86	2.91	0.09
14 地域産業の経営安定化を図る	2.72	2.67	2.74	0.05
15 地域づくりに歴史文化を活かす	3.01	2.86	2.92	0.15
16 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる	2.90	2.75	2.82	0.15
17 低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる	2.94	2.81	2.90	0.13
18 資源循環型社会をつくる	3.33	3.13	3.22	0.20
19 緑豊かなまちをまもる	2.85	2.70	2.80	0.15
20 伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる	2.97	2.82	2.96	0.15
21 安らぎの感じられる住環境をつくる	2.86	2.67	2.83	0.19
22 安全で快適な道づくりを進める	2.90	2.68	2.79	0.22
23 暮らしに必要な交通の便を確保する	2.89	2.88	2.83	0.01
24 衛生的な生活の場をつくる	3.12	3.02	3.03	0.10
25 安全で安定した水を提供する	4.16	4.09	4.01	0.06
26 健康づくりに対する意識を高める	3.81	3.70	3.69	0.11
27 いざという時の受診体制を整える	2.89	2.74	2.76	0.16
28 安心できる社会保障制度を運営する	3.04	3.05	2.89	▲ 0.01
29 市民の支え合いの和を広げる	3.21	3.10	3.10	0.10
30 高齢者の生きがいある生活を支える	3.21	3.13	3.12	0.08
31 障がい者の主体的な生活を支える	3.11	3.10	3.06	0.01
32 災害から市民生活をまもる	3.13	3.01	3.04	0.13
33 生活トラブルから市民をまもる	3.18	3.24	3.21	▲ 0.06
34 消防・救急体制を充実する	3.72	3.66	3.54	0.06
35 市民活動が行いやすい環境をつくる	3.16	3.03	3.06	0.14
36 協働のための仕組みをつくる	3.10	2.83	2.91	0.27
37 質の高い市民サービスを追及する	3.01	2.85	2.75	0.16
38 目的達成型の行政経営を進める	2.87	2.66	2.75	0.21
39 組織の充実と人材育成を行う	3.09	2.91	2.87	0.17
40 持続可能な財政運営を進める	3.01	2.87	2.93	0.14
全体平均	3.05	2.92	2.95	0.13

市政に対する満足度 経年比較（R1/H30）

■ R1 ■ H30



(3) 【満足度及び重要度の分類による市民ニーズの整理】

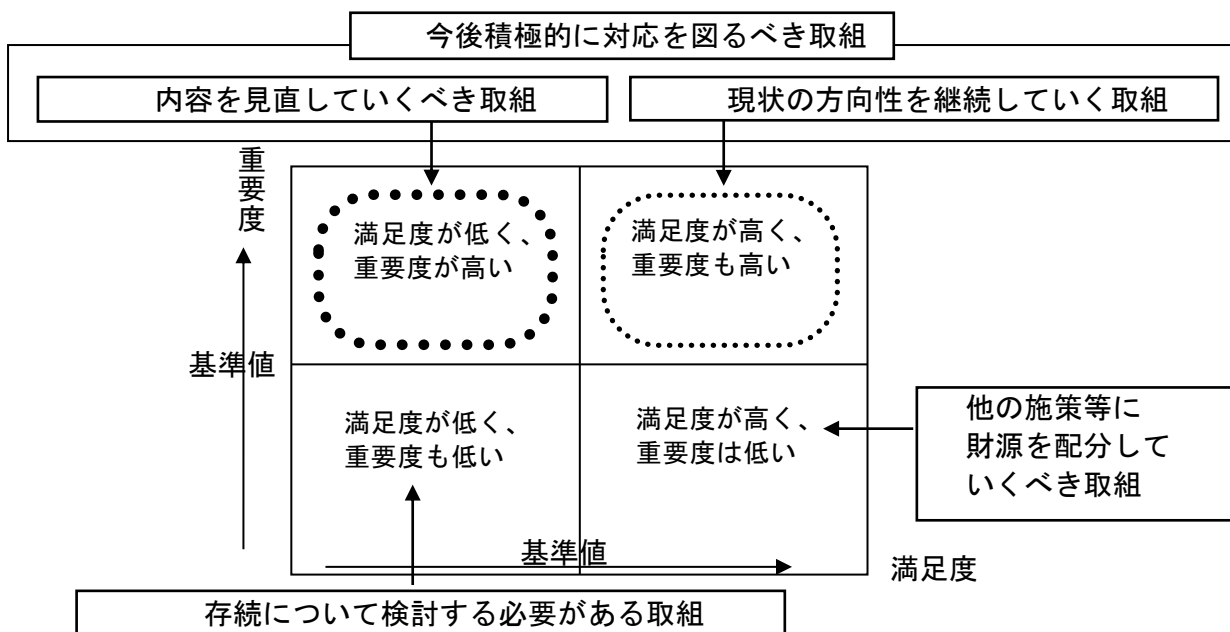
満足度を横軸、重要度を縦軸にして、各取組のポジショニングを行った散布図を作成し、各取組相互の位置関係を示すことにより特性の把握を行った。

「わからない」「無回答」を除く回答者に対する満足度の平均値（3.05）、重要度の平均値（4.32）を踏まえ、満足度と重要度の関係を下図のように整理し分析した。

【今後積極的に対応を図るべき取組】

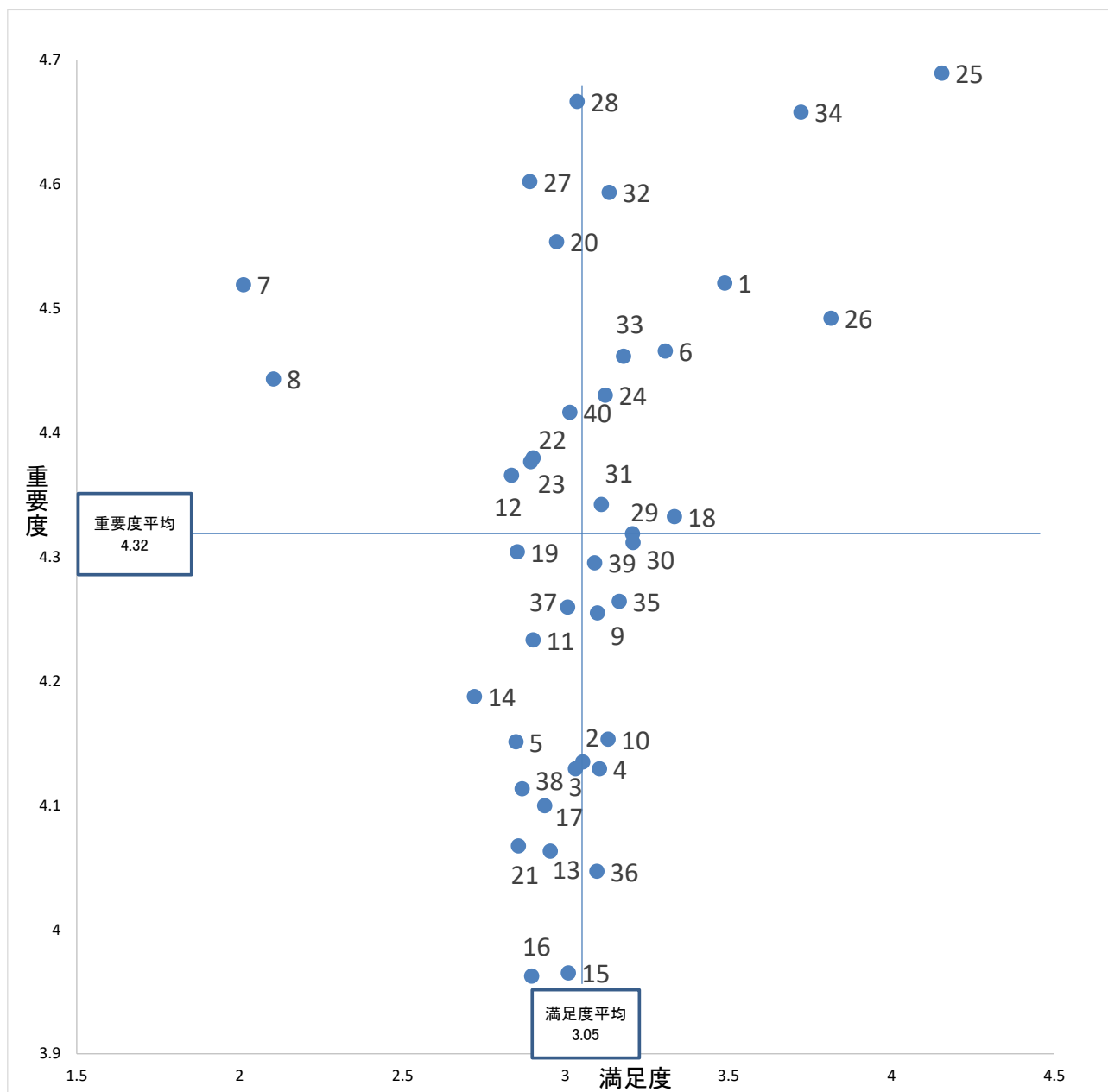
今後積極的に対応を図るべき取組は、満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取組」と、満足度が高く、重要度も高い「現状の方向性を継続していく取組」の2つの象限に該当する取組と考えられる。

なお、満足度、重要度の平均得点に近い部分の取組については、状況に応じて対応を行うものとする。



満足度：「満足している」＝5点、「やや満足している」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「やや不満である」＝2点、「不満である」＝1点とし、「わからない」「無回答」を除いた平均得点

重要度：「重要である」＝5点、「やや重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点とし、「わからない」「無回答」を除いた平均得点



満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取組」（次ページ表の網掛け）
 内容を見直していくべき取組としては、「7 若者の地元での就職や起業を支える」、「8 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる」など雇用促進に関する取組と、「12 豊かな水産資源のブランド化を図る」などの産業振興に関する取組、「20 伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる」自然共生に関する取組、「22 安全で快適な道づくりを進める」、「23 暮らしに必要な交通の便を確保する」交通インフラに関する取組、「27 いざという時の受診体制を整える」、「安心できる社会保障制度を運営する」医療・社会保障に関わる取組などが挙げられている。

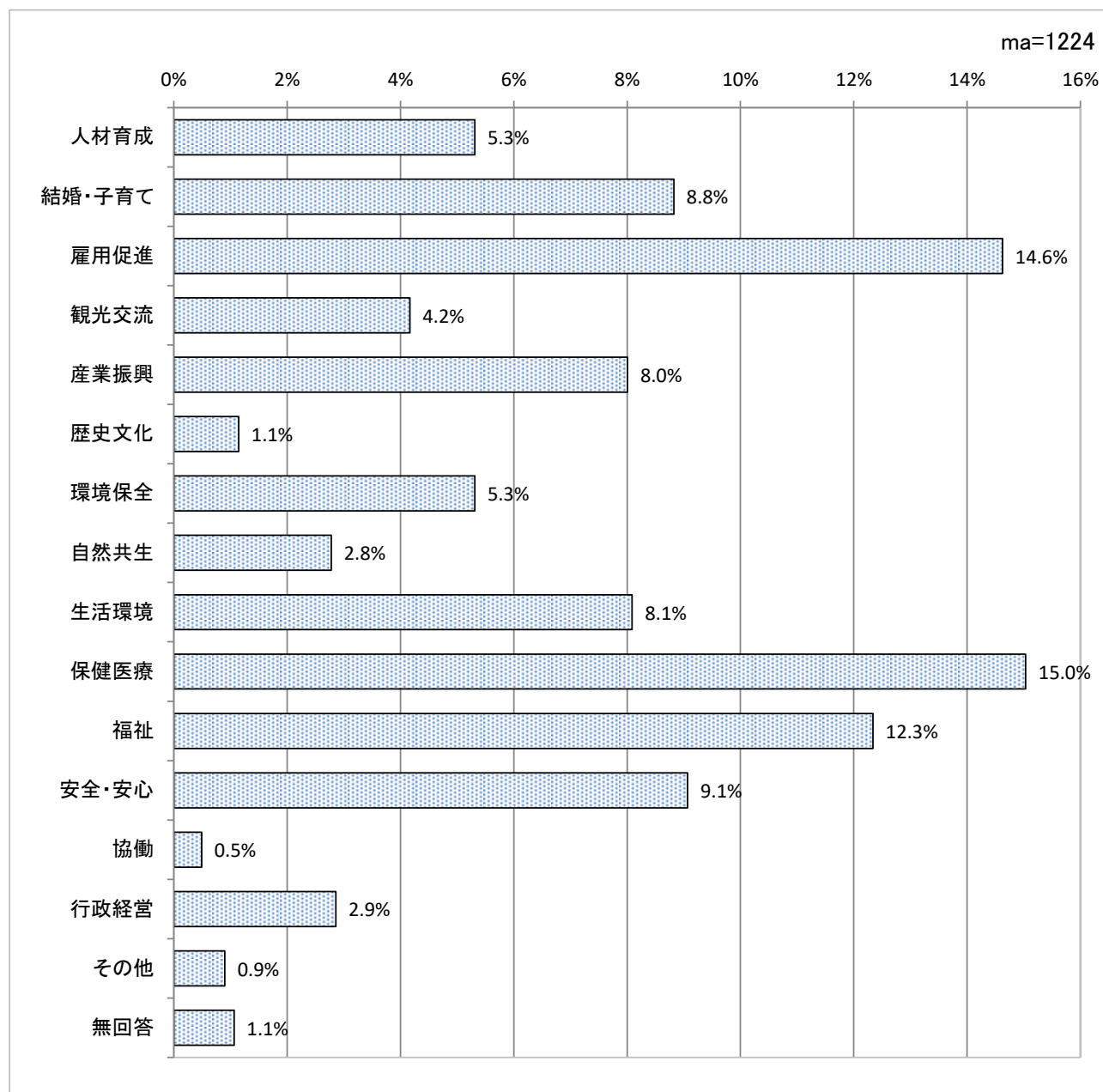
めざすまちの姿	まちづくり目標	目 標
学びたい・働きたい・住みたい・続けたいという思いが育つまち	【人材育成】 市民の郷土愛を育てよう	1 地域ぐるみで子どもたちを育てる
		2 市民や子どもたちの生涯学習を進める
		3 スポーツを通じて健全な心と体を育てる
		4 多様な個性や文化を認め合う精神を育てる
	【結婚・子育て】 家族や恋人との愛を育てよう	5 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる
		6 子どもと子育て家庭をやさしく支える
	【雇用促進】 若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	7 若者の地元での就職や起業を支える
		8 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる
鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち	【観光交流】 自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	9 海洋文化都市としての資源に磨きをかける
		10 まちの美しさや機能に磨きをかける
		11 おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する
	【産業振興】 地域資源の豊かさをわかちあおう	12 豊かな水産資源のブランド化を図る
		13 農業に触れる機会をつくる
		14 地域産業の経営安定化を図る
	【歴史文化】 地域文化の奥深さをわかちあおう	15 地域づくりに歴史文化を活かす
		16 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる
自然と調和した営みが広がるまち	【環境保全】 地球にやさしい暮らしを広げよう	17 低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる
		18 資源循環型社会をつくる
	【自然共生】 自然をまもる気持ちや活動を広げよう	19 緑豊かなまちをまもる
		20 伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる
	【生活環境】 鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	21 安らぎの感じられる住環境をつくる
		22 安全で快適な道づくりを進める
		23 暮らしに必要な交通の便を確保する
		24 衛生的な生活の場をつくる
		25 安全で安定した水を提供する
生きがいや安心をみんなで作るまち	【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	26 健康づくりに対する意識を高める
		27 いざという時の受診体制を整える
		28 安心できる社会保障制度を運営する
	【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	29 市民の支え合いの和を広げる
		30 高齢者の生きがいある生活を支える
		31 障がい者の主体的な生活を支える
	【安全・安心】 みんなが安心できる生活の場をつくろう	32 災害から市民生活をまもる
		33 生活トラブルから市民をまもる
		34 消防・救急体制を充実する
無駄なく、効果の高い行政経営が進むまち	【協働】 みんなの心と力を合わせたまちづくりを進めよう	35 市民活動が行いやすい環境をつくる
		36 協働のための仕組みをつくる
		37 質の高い市民サービスを追求する
	【行政経営】 効率的で心のこもった行政経営を進めよう	38 目的達成型の行政経営を進める
		39 組織の充実と人材育成を行う
		40 持続可能な財政運営を進める

7. 力を入れてほしいまちづくり分野

問7 「今後特に力を入れてほしいまちづくり分野」についてお聞きします。次の分野別政策目標のうち、今後のまちづくりの中で特に力を入れるべき分野を次の中から主なものを3つまで選び、番号を下の口の中に記入してください。

(1) 【全体】

全体では、保健医療が15.0%と最も高く、次いで、雇用促進（14.6%）、福祉（12.3%）となっている。

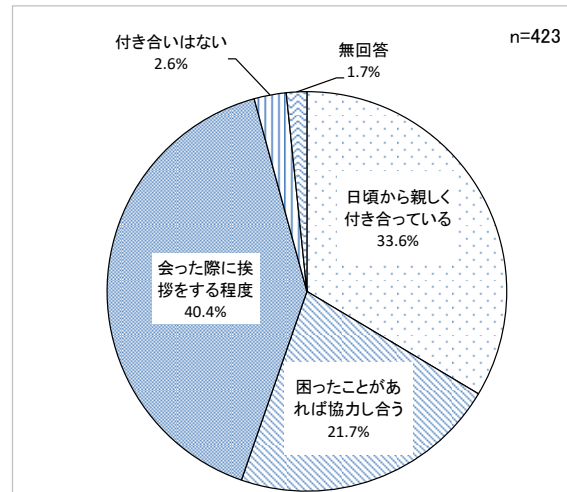


8. 近所との付き合いの程度

問8 あなたは、近所との付き合いがどれくらいありますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

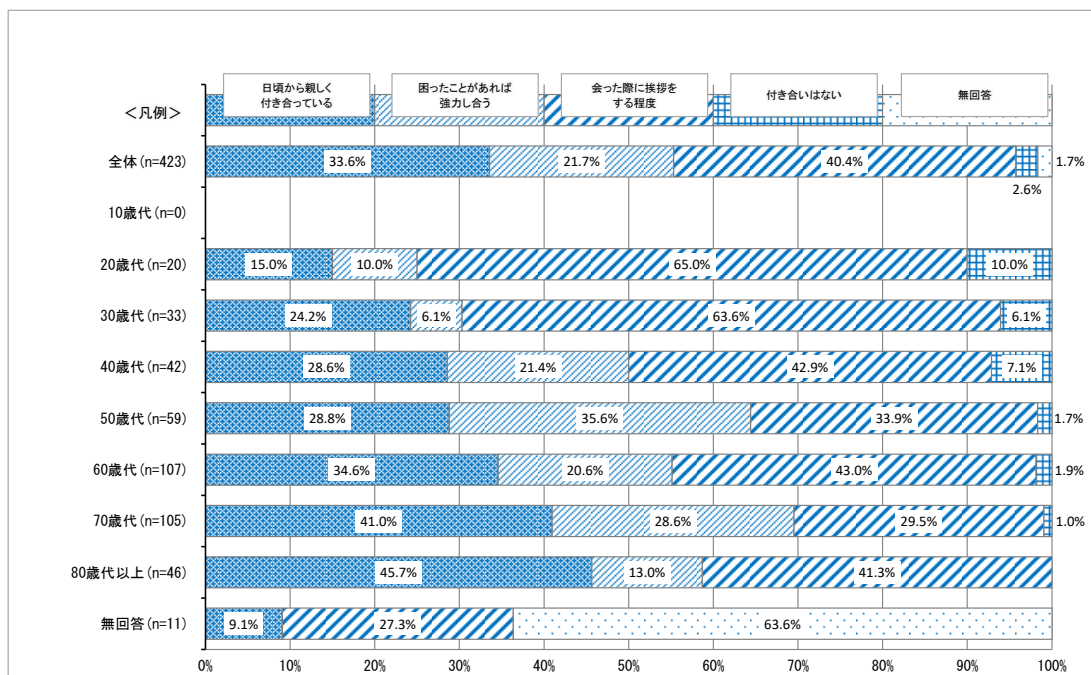
(1) 【全体】

全体では、会った際に挨拶をする程度が40.4%と最も高く、次いで、日ごろから親しく付き合っている(33.6%)となっている。日頃から親しく付き合っていると、困ったことがあれば協力し合うと回答した割合が55.3%を占めている。なお、付き合いはないは2.6%であり、9割以上の回答者が何らかの近所づきあいを持っていることがわかる。



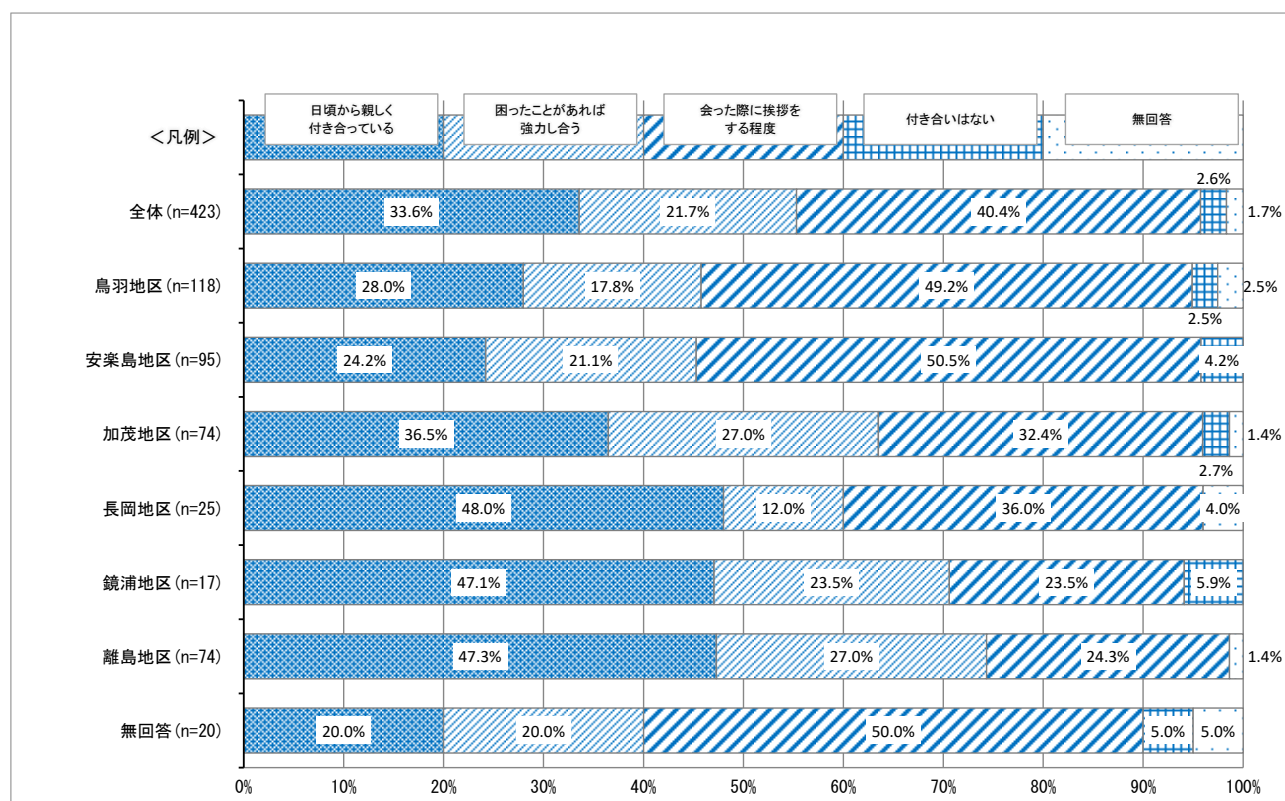
(2) 【年齢別】

年齢別では、日頃からと親しく付き合っていると回答した割合が80歳代以上で45.7%と最も高く、次いで、70歳代(41.0%)、60歳代(34.6%)となっている。なお、付き合いはないと回答した割合は、20歳代で10.0%と最も高く、次いで、40歳代(7.1%)、30歳代(6.1%)が全体値を上回っている。



(3) 【地区別】

年齢別では、日頃から親しく付き合っていると回答した割合が長岡地区で 48.0%と最も高く、次いで、離島地区（47.3%）、鏡浦地区（47.3%）となっている。なお、付き合いはないと回答した割合は、鏡浦地区で 5.9%と最も高く、次いで、安楽島地区（4.2%）、加茂地区（2.7%）が全体値を上回っている。

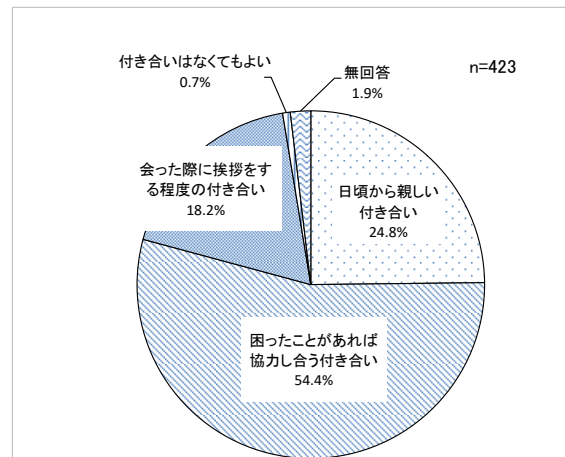


9. 望ましい近所との付き合い方

問9 あなたは、どのような近所との付き合い方を望んでいますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

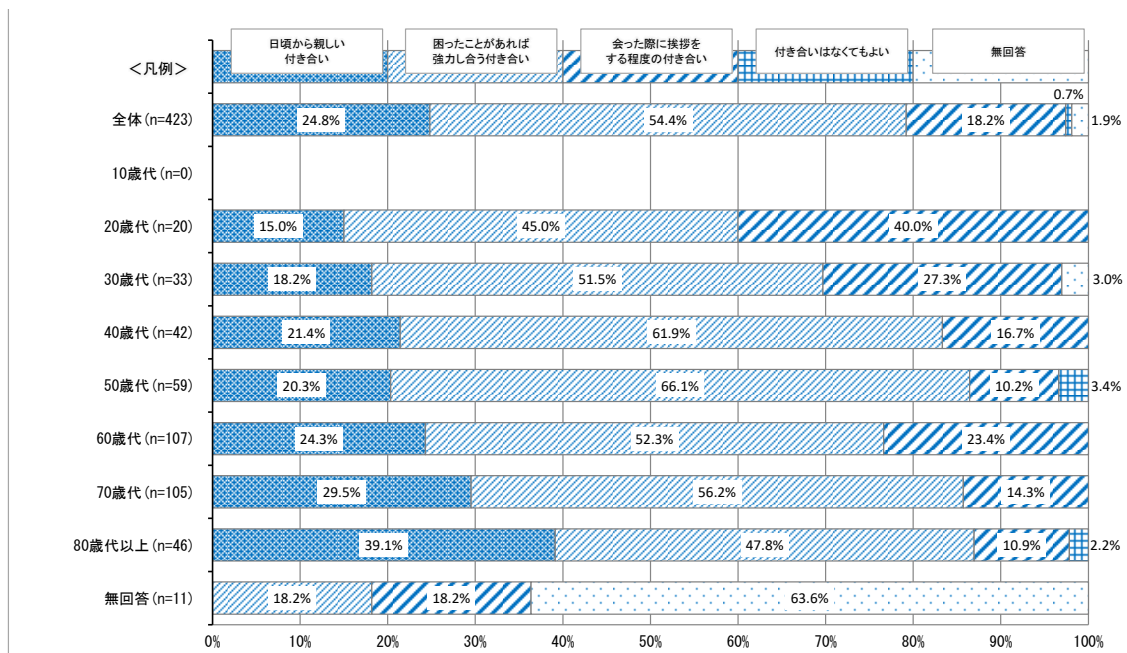
(1) 【全体】

全体では、困ったことがあれば協力し合う付き合いが54.4%と最も高く、次いで、日ごろから親しく付き合い(24.8%)となっている。日頃から親しく付き合っていると、困ったことがあれば協力し合うと回答した割合が79.2%を占めている。なお、付き合いはしなくてもよいは0.7%であり、8割程度の回答者が助け合える近所との付き合い方を望んでいることがわかる。



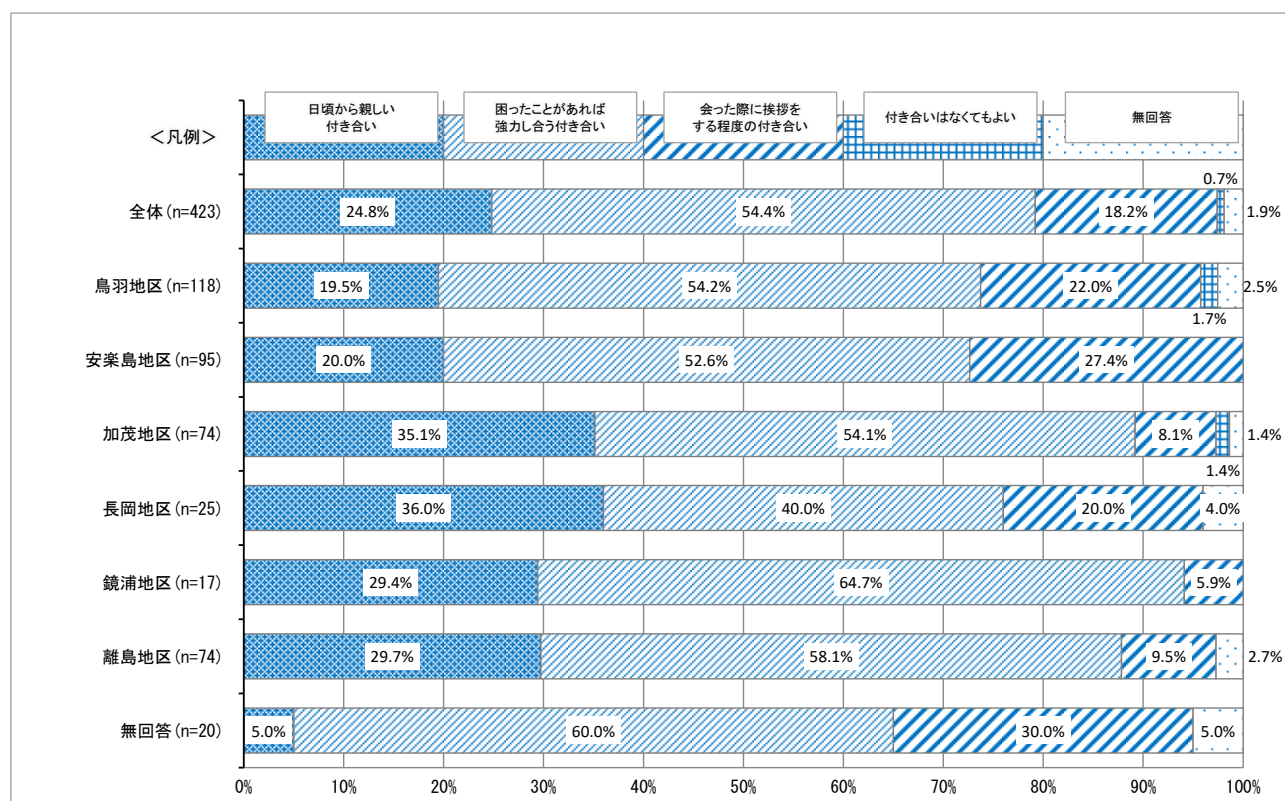
(2) 【年齢別】

年齢別では、日頃から親しい付き合いと回答した割合が80歳代以上で39.1%と最も高く、次いで、70歳代(29.5%)、60歳代(24.3%)となっている。なお、付き合いはしなくてもよいと回答した割合は、50歳代で3.4%と最も高く、次いで、80歳代以上(2.2%)が全体値を上回っている。



(3) 【地区別】

年齢別では、日頃から親しい付き合いと回答した割合が長岡地区で 36.0%と最も高く、次いで、加茂地区 (35.1%)、離島地区 (29.7%) となっている。なお、付き合いはなくてもよいと回答した割合は、加茂地区で 1.4%と最も高く、次いで、鳥羽地区 (1.7%) が全体値を上回っている。

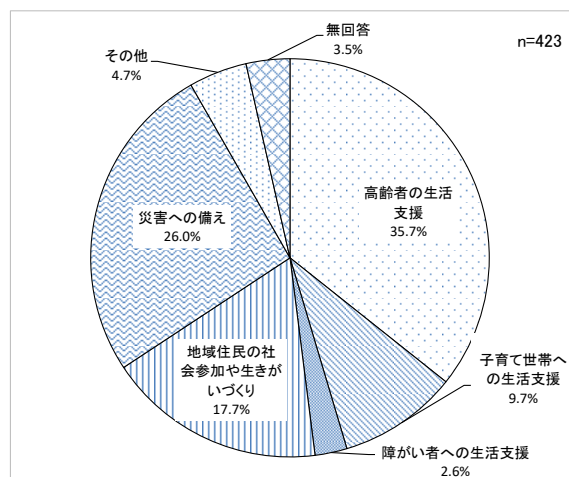


10. 居住地域における課題

問 10 あなたがお住いの地域にはどのような課題があると感じますか。次の中から最もあてはまるものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

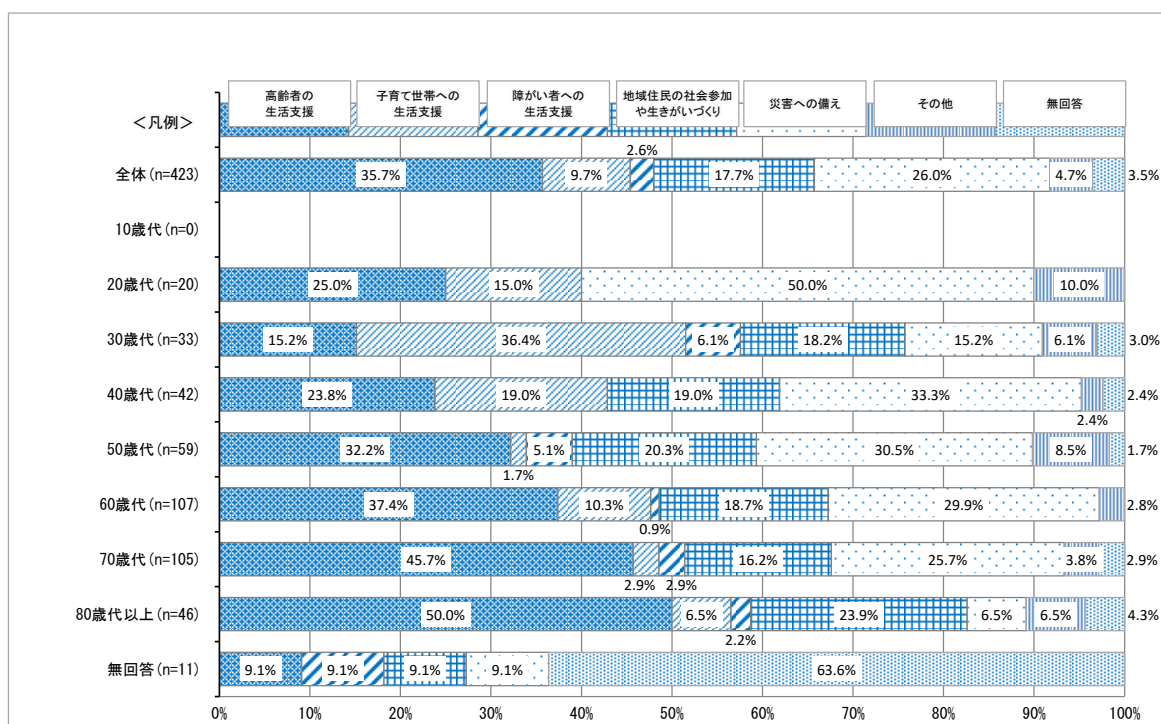
(1) 【全体】

全体では、高齢者の生活支援が 35.7%と最も高く、次いで、災害への備え（26.0%）、地域住民の社会参加や生きがいきづくり（17.7%）となっている。



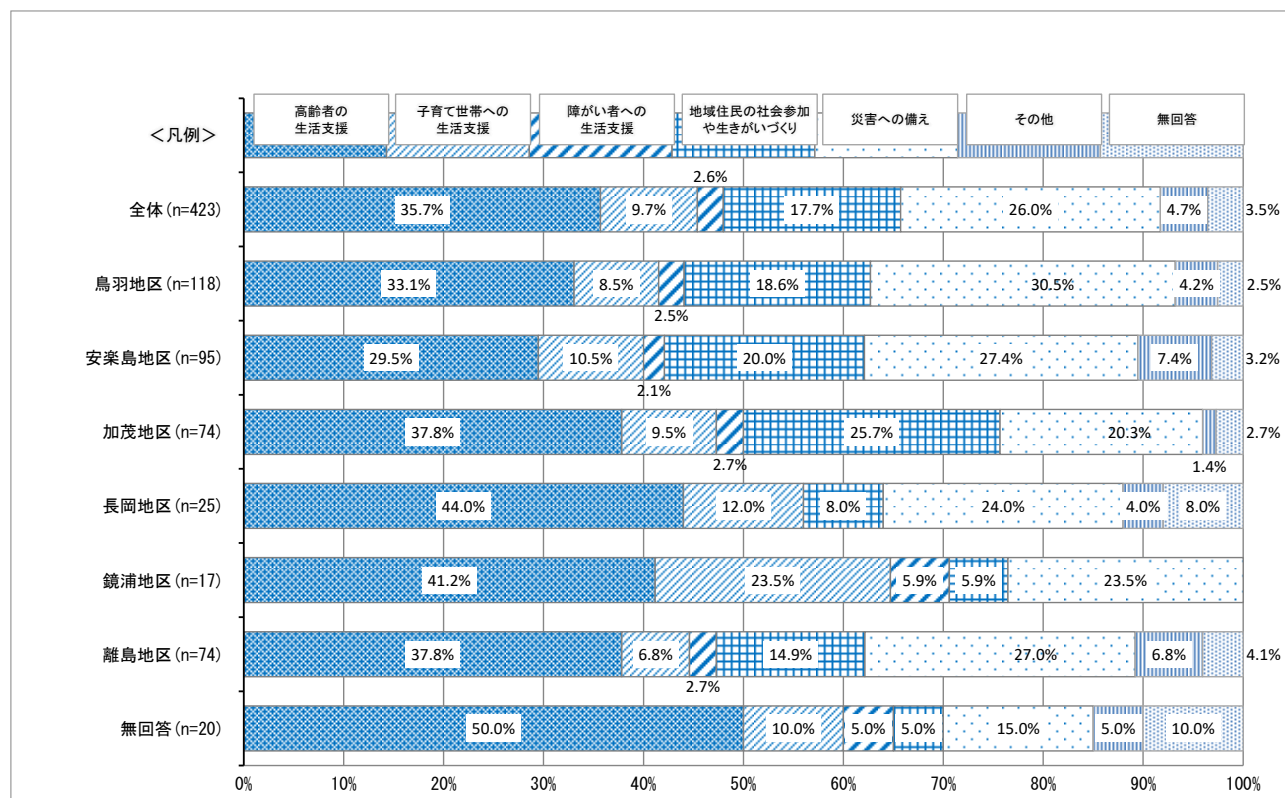
(2) 【年齢別】

年齢別では、高齢者の生活支援と回答した割合が 80 歳代以上で 50.0%と最も高く、次いで、70 歳代（45.7%）、60 歳代（37.4%）となっている。災害への備えと回答した割合は 20 歳代で 50.0%と最も高く、次いで、40 歳代（33.3%）、50 歳代（30.5%）、60 歳代（29.9%）が全体値を上回っている。また、30 歳代では子育て世帯への支援が 36.4%、80 歳代以上では地域住民の社会参加や生きがいきづくりが 23.9%と高くなっている。



(3) 【地区別】

地区別では、高齢者の生活支援と回答した割合が長岡地区で 44.0%と最も高く、次いで、鏡浦地区 (41.2%)、加茂地区 (37.8%)、離島地区 (37.8%) となっている。災害への備えと回答した割合は鳥羽地区で 30.5%と最も高く、次いで、安楽島地区 (27.4%)、離島地区 (27.0%) が全体値を上回っている。また、加茂地区では地域住民の社会参加や生きがいが 25.7%、鏡浦地区では子育て世帯への生活支援が 23.5%と高くなっている。

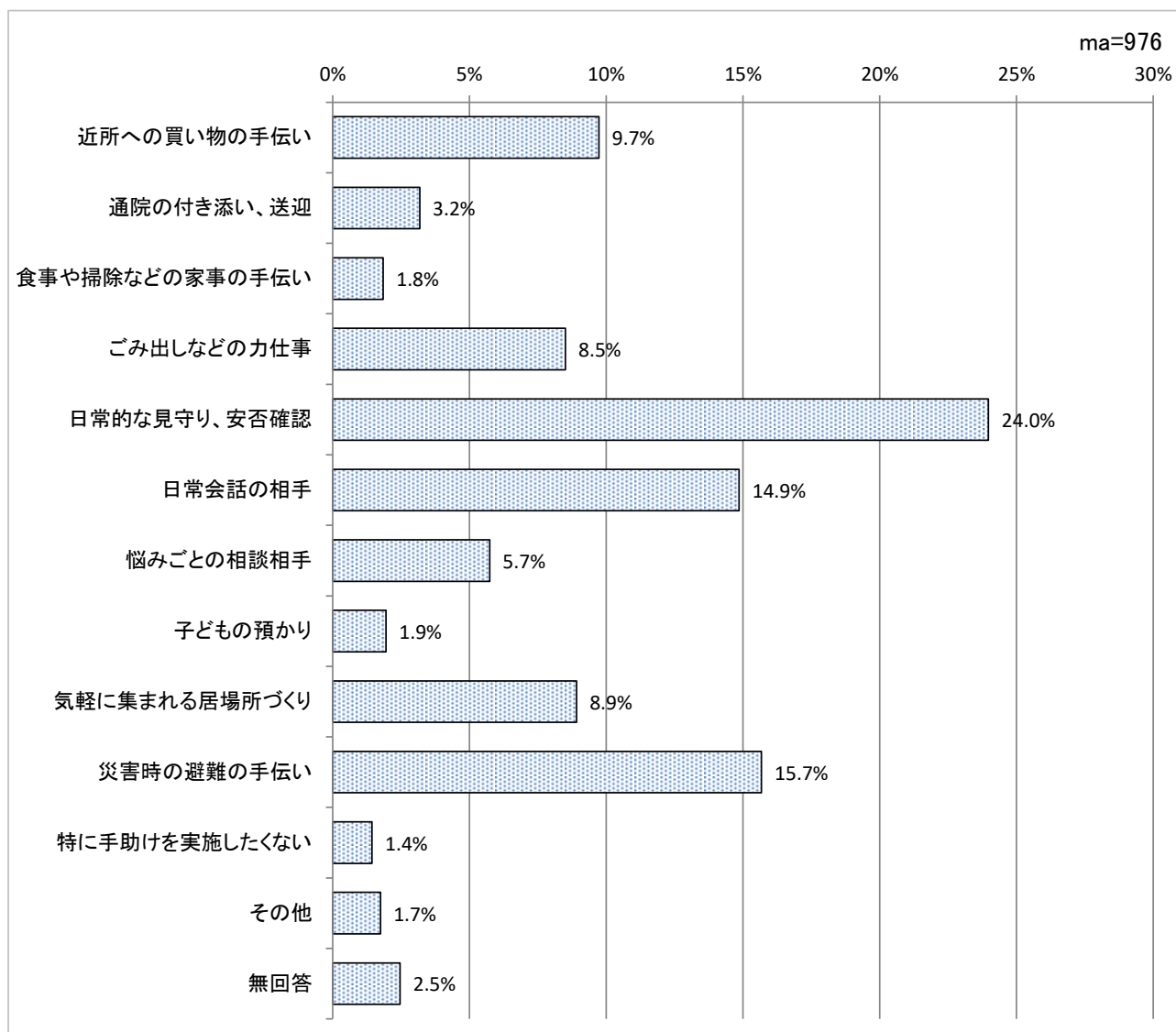


1 1. 日常における近所との支え合いでできると考える活動

問 11 日常における近所との支え合いについて、あなたにもできると考える活動は何ですか。
次の中から主なものを3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

(1) 【全体】

全体では、日常的な見守り、安否確認が 24.0%と最も高く、次いで、災害時の避難の手伝い (15.7%)、日常会話の相手 (14.9%) となっている。



(2) 【年齢別】

年齢別では、日常的な安否確認と回答した割合が20歳代で28.3%と最も高く、次いで、50歳代(27.6%)、60歳代(27.0%)となっている。災害時の避難の手伝いと回答した割合は20歳代で28.3%と最も高く、次いで、30歳代(23.5%)、40歳代(21.4%)、60歳代(18.4%)が全体値を上回っている。また、日常会話の相手の割合は80歳代以上で22.1%、次いで、20歳代(17.4%)、70歳代(16.5%)、60歳代(15.6%)が全体値を上回っている。

	問 1 1 日常における近所との支え合いについて、あなたにもできると考える活動												
	近所への 買い物の 手伝い	通院の 付き添い、 送迎	食事や 掃除などの 家事の 伝い手	ごみ出し などの力 仕事	日常的な 見守り、 安否確認	日常会話 の相手	悩みごと の相談相手	子どもの 預かり	気軽に 集まれる 居場所づく り	災害時の 避難の手 伝い	特に手 助けを 実施した くない	その他	無 回答
全体 (n=976)	9.7%	3.2%	1.8%	8.5%	24.0%	14.9%	5.7%	1.9%	8.9%	15.7%	1.4%	1.7%	2.5%
10歳代 (n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代 (n=46)	8.7%	0.0%	2.2%	4.3%	28.3%	17.4%	2.2%	0.0%	2.2%	28.3%	4.3%	0.0%	2.2%
30歳代 (n=81)	8.6%	1.2%	2.5%	8.6%	19.8%	12.3%	4.9%	6.2%	6.2%	23.5%	2.5%	2.5%	1.2%
40歳代 (n=98)	9.2%	1.0%	2.0%	9.2%	22.4%	12.2%	4.1%	5.1%	11.2%	21.4%	0.0%	0.0%	2.0%
50歳代 (n=134)	11.2%	3.0%	3.7%	12.7%	27.6%	8.2%	6.7%	0.7%	7.5%	14.9%	2.2%	0.7%	0.7%
60歳代 (n=256)	9.8%	2.7%	0.4%	8.6%	27.0%	15.6%	5.5%	2.3%	6.6%	18.4%	0.8%	0.8%	1.6%
70歳代 (n=248)	10.5%	5.2%	2.4%	7.3%	24.6%	16.5%	5.6%	0.4%	11.7%	9.7%	2.0%	2.4%	1.6%
80歳代以上 (n=95)	7.4%	5.3%	1.1%	7.4%	14.7%	22.1%	9.5%	1.1%	13.7%	7.4%	0.0%	6.3%	4.2%
無回答 (n=18)	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	38.9%

(3) 【地区別】

地区別では、日常的な安否確認と回答した割合が鏡浦地区で 34.2%と最も高く、次いで、加茂地区 (26.2%)、離島地区 (24.6%) となっている。災害時の避難の手伝いと回答した割合は長岡地区で 20.0%と最も高く、次いで、鳥羽地区 (18.6%)、安楽島地区 (17.0%)、鏡浦地区 (15.8%) が全体値を上回っている。また、日常会話の相手と回答した割合は鏡浦地区で 20.0%、次いで、安楽島地区 (17.5%)、加茂地区 (17.5%)、鏡浦地区 (15.8%) が全体値を上回っている。

問 1 1 日常における近所との支え合いについて、あなたにもできると考える活動													
	近所への 買い物の 手伝い	通院の 付き添い、 送迎	食事や 掃除などの 家事の手 伝い	ゴミ出し などの力 仕事	日常的な 見守り、 安否確認	日常会話 の相手	悩みごと の相談相手	子どもの 預かり	気軽に 集まれる 居場所づく り	災害時の 避難の手 伝い	特に手 助けを 実施し たく ない	その他	無 回 答
全体 (n=976)	9.7%	3.2%	1.8%	8.5%	24.0%	14.9%	5.7%	1.9%	8.9%	15.7%	1.4%	1.7%	2.5%
鳥羽地区 (n=274)	11.3%	2.9%	1.5%	6.6%	23.4%	12.4%	4.7%	1.1%	10.6%	18.6%	2.6%	2.6%	1.8%
安楽島地区 (n=206)	9.2%	3.4%	0.5%	6.8%	21.4%	17.5%	6.3%	4.9%	8.3%	17.0%	1.9%	1.0%	1.9%
加茂地区 (n=183)	9.8%	2.7%	3.3%	9.3%	26.2%	17.5%	6.6%	0.5%	6.0%	14.8%	0.0%	1.1%	2.2%
長岡地区 (n=55)	7.3%	1.8%	1.8%	9.1%	20.0%	20.0%	5.5%	0.0%	7.3%	20.0%	0.0%	0.0%	7.3%
鏡浦地区 (n=38)	13.2%	0.0%	0.0%	7.9%	34.2%	15.8%	7.9%	2.6%	2.6%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%
離島地区 (n=179)	6.7%	3.9%	2.8%	12.3%	24.6%	11.7%	6.7%	2.2%	12.8%	9.5%	1.7%	2.8%	2.2%
無回答 (n=41)	14.6%	7.3%	2.4%	9.8%	24.4%	12.2%	0.0%	0.0%	4.9%	14.6%	0.0%	2.4%	7.3%

鳥羽市市民意識調査

アンケート調査ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃から市行政に対しましてご理解とご協力をいただきありがとうございます。

現在、鳥羽市では、令和3年度から令和12年度を計画期間とする総合計画の策定を進めているところです。

そこで、住民の皆様が鳥羽市のまちづくりについて、日ごろ感じているご意見やご要望をお聞かせいただき、これからのまちづくりを進めていくための基礎資料とするため、18歳以上の住民2,000人を無作為抽出し、市民意識調査を実施することとなりました。

お忙しいとは存じますがアンケート用紙にご回答いただき、同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません）に入れ、

9月13日（金）

までにご投函くださいますようお願いいたします。

ご回答いただきました結果は、すべて統計処理し、本調査以外の目的には使用いたしませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、別途開催を予定している市民会議に関するご案内も同封しております。ご関心のある方はこちらをご確認をお願いいたします。

令和元年 9月

鳥羽市長 中村欣一郎

ご記入にあたってのお願い

- 1 宛名のご本人が直接お答えください。事情によってご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
 - 2 お答えは、あなたのお考えに最も近いと思われる回答を、設問文で示された数の範囲で選び、その番号を○で囲んでください。
 - 3 「その他（）」に○をつけたときは、（）内に具体的な内容をご記入ください。
- ※一部の設問では自由記載や番号記入の欄を設けておりますので、ご注意ください。
- 4 ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

9月13日（金）までに、郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）

（お名前、ご住所を記入する必要はありません）

【調査に関するお問い合わせ】

鳥羽市役所 企画財政課 企画経営室

電話 0599-25-1101 ファックス 0599-25-3111

【鳥羽市への愛着・住みやすさ・定住意向について】

問 1 あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。次の中から 1つ 選び、その番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 持っている | 2. どちらかといえば持っている |
| 3. どちらかといえば持っていない | 4. 持っていない |

問 2 あなたにとって、鳥羽市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から 1つ 選び、その番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 住みやすい | 2. まあ住みやすい |
| 3. やや住みにくい | 4. 住みにくい |

問 3 あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。次の中から 1つ 選び、その番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 3. 市外に移りたい |
| 2. しばらくは住むつもり | 4. 近いうちに転出する |

問 3 で「1」「2」を選んだ方は
問 3 - 1 にお進みください。

問 3 で「3」「4」を選んだ方は
問 3 - 2 にお進みください。

問 3 - 1 それはどういった理由からですか。
次の中から主なものを 3つまで 選び、
その番号を○で囲んでください。

問 3 - 2 それはどういった理由からですか。
次の中から主なものを 3つまで 選び、
その番号を○で囲んでください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 交通の便がよい |
| 2. 買い物が便利である |
| 3. 公害が少ない |
| 4. 下水道などの基盤整備がよい |
| 5. 災害の危険性が少ない |
| 6. 犯罪が少なく風紀がよい |
| 7. 緑や自然環境が豊かである |
| 8. 近所づきあいなどの人間関係がよい |
| 9. 教育など子どもを育てる環境がよい |
| 10. 医療や福祉環境が充実している |
| 11. 働き口が確保されている |
| 12. 文化やスポーツの機会に恵まれている |
| 13. まちに魅力や活気がある |
| 14. その他 () |

- | |
|-----------------------|
| 1. 交通の便が悪い |
| 2. 買い物が不便である |
| 3. 公害により環境が悪い |
| 4. 下水道などの基盤整備が遅れている |
| 5. 災害に対する不安が大きい |
| 6. 犯罪に対する不安が大きい |
| 7. 緑や自然環境が少ない |
| 8. 近所づきあいなどの人間関係がよくない |
| 9. 教育など子どもを育てる環境がよくない |
| 10. 医療や福祉環境が充実していない |
| 11. 働き口が不足している |
| 12. 文化やスポーツにふれる機会が少ない |
| 13. まちに魅力や活気がない |
| 14. その他 () |

【市政情報の入手について】

問 4 あなたは鳥羽市の市政情報を入手する手段として、次の ①～③それぞれについて、どの手段をどの程度利用されますか。

1～5の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

項目 \ 評価	よく見る、 利用する	時々見る、 利用する	あまり見ない、 利用しない	見たこと、 利用したことがない	見ることは できない
① 広報とば	1	2	3	4	5
② 行政放送	1	2	3	4	5
③ ホームページ	1	2	3	4	5

【市職員の印象について】

問 5 あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。（来庁時、電話、市役所外の場面で職員と接した際の印象をお聞かせください）

1. 満足している 2. やや満足している 3. やや不満である 4. 不満である
5. わからない（職員と接していない）

問5で「1」「2」「3」「4」を選んだ方は問5－1にお進みください

問 5－1 それはどのような場面で最もそう感じましたか。

次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 電話 2. 窓口
3. 説明会や個別訪問、行事など市役所外の場面 4. 市と関連した仕事やボランティアなどを行う際
5. 特に場面ではなく、市役所のイメージ 6. その他

問5－1で「1」「2」「3」「4」を選んだ方は問5－2にお進みください

問 5－2 それはなぜですか。あてはまるものをすべて選び、その番号を○で囲んでください

1. 仕事のスピードや待ち時間 2. 正確な仕事の進め方
3. 説明のわかりやすさ 4. 通知文等の文章のわかりやすさ
5. 親身な対応や気づかい 6. 身だしなみや挨拶等の基本的なマナー
6. その他（ ）

【市政に対する満足度・重要度について】

問 6 本市では、将来都市像の『真珠のようにきらり輝く鳥羽(まち)』を実現するために、以下に挙げるような「目標」と「めざすまちの姿」を設定して、施策を推進しています。こうした取り組みについて、現在あなたはどの程度満足され、どの程度重要視されていますか？

満足度・重要度ともに5段階で評価し、それぞれ1～5の中から1つ選んで、

その番号を○で囲んでください。(取り組みの内容を知らない場合や、全く関心がない

【回答例】 「6. わからない」を選んでください。)

目 標	めざすまちの姿	満 足 度						重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1. 学びたい・働きたい・住みたいという思いが育つまち													
【人材育成】市民の郷土愛を育てよう													
2 市民や子どもたちの生涯学習を進める	こどもから老人まで生涯を通じて自分にあった学習に取り組み、生活にうるおいとゆとりを感じる社会となっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

1～6のうち一つに○ 1～6のうち一つに○

目 標	めざすまちの姿	満 足 度							重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1. 学びたい・働きたい・住みたいという思いが育つまち														
【人材育成】市民の郷土愛を育てよう														
1 地域ぐるみで子どもたちを育てる	学校・家庭・地域の連携強化と、安全で安心な学習環境の整備により、人間性豊かで心身ともに健全な児童生徒が育っています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
2 市民や子どもたちの生涯学習を進める	こどもから老人まで生涯を通じて自分にあった学習に取り組み、生活にうるおいとゆとりを感じる社会となっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
3 スポーツを通じて健全な心	市民がどこでも、誰でも、いつでもスポーツ活動ができる	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6

目 標	めざすまちの姿	満 足 度							重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
と体を育てる	ような環境が整い、健康で豊かな生活を送っています。													
4 多様な個性や文化を認め合う精神を育てる	人権意識を高めるための教育、学習が充実しており、様々な差別をなくす意識が根づいています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【結婚・子育て】 家族や恋人との愛を育てよう														
5 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	鳥羽のまち並みを魅力と感じる若者たちが出会い、鳥羽に住むことを望んでいます。また、市民は公園や水辺に親しみ、環境の保全、及び美化に配慮しながら、豊かな時間を過ごしています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
6 子どもと子育て家庭をやさしく支える	子どもに関する相談体制の充実や多様な子育てニーズに対応したサービスの提供により、すべての子育て家庭が安心して生活し、親子が心身ともに健やかに成長しています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【雇用促進】 若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう														
7 若者の地元での就職や起業を支える	産業振興と雇用促進の充実により、就労場所が確保され、若者の市外への転出が抑制されています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる	若者の雇用の場づくりと産業振興を支援するため、新たな企業誘致等により、市内で働く人が増えています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
2. 鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち														
【観光交流】 自然の恵みと出会う感動をわかちあおう														
9 海洋文化都市としての資源に磨きをかける	観光地としてのブランド力・魅力が高くなり、全国各地から多くの観光客が訪れ、再来訪者が増えています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
10 まちの美しさや機能に磨きをかける	鳥羽港佐田浜地区・鳥羽駅から鳥羽2～4丁目を経て鳥羽水族館・ミキモト真珠島へ快適に周回できるようになっています。また、統一感のあるまち並みが形成されています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
10-1 鳥羽駅周辺などの市街地整備		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6

目 標	めざすまちの姿	満 足 度							重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
11 おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する	鳥羽の魅力が国内外へ十分に伝わり、旅行商品の品揃えが多く、来訪者が感動と幸せを感じ、何度も訪れたくなっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう														
12 豊かな水産資源のブランド化を図る	水産物の生産力や価格の向上、就労・生産環境の改善などの取り組みにより、漁家経営が安定し、新規就業者が漁村集落を支えています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
13 農業に触れる機会をつくる	農地が生産基盤として有効に利用され、耕作放棄地の拡大が止まっています。また、休日ごとに市内の何処かで朝市が開かれ、野菜などの農産物を身近で買うことができます。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
14 地域産業の経営安定化を図る	市内の企業や商店が地域資源の研究を進め、商品の特産品化を推し進めています。また、中心市街地にある空き店舗を活用した新しい店舗が増え、まちの賑わいが創生されています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう														
15 地域づくりに歴史文化を活かす	鳥羽の歴史文化の大切さを認識し、保全に努めるとともに、観光施策において積極的に活用することで、まちが活性化しています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
16 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる	快適で美しく、魅力的なまちに向けた整備が進んでおり、憩いの場には市民・来訪者が集っています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
3. 自然と調和した営みが広がるまち														
【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう														
17 低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる	市と事業者、市民が連携して温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。また、訪れる人も排出抑制に協力しています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6

目 標	めざすまちの姿	満 足 度							重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
18 資源循環型社会をつくる	ごみを資源として活用するまちになっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう														
19 緑豊かなまちをまもる	森林の整備により森林本来の機能が回復し、緑豊かな森林環境がつくられています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
20 伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる	森林の整備に加え、生活排水対策やごみの回収が行われることで海や川の環境が守られています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう														
21 安らぎの感じられる住環境をつくる	まち並みが周辺と調和するよう、意識的に良好な景観がつけられています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
22 安全で快適な道づくりを進める	市民の利用する道路の改良、維持修繕を行い、生活の利便性・快適性が向上しています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
22-1 幹線道路や生活道路などの道路環境		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
23 暮らしに必要な交通の便を確保する	市営の定期船とかもめバスが地域公共交通として一体的に運用され、鉄道との連携もとれた使い勝手のよい交通になっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
24 衛生的な生活の場をつくる	清潔で安心した暮らしが守られています。また、ごみの不法投棄が減少しています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
25 安全で安定した水を提供する	健全な水道事業が運営され、安全・安心でおいしい水が安定的に供給されています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
4. 生きがいや安心をみんなでつくるまち														
【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう														
26 健康づくりに対する意識を高める	市民が普段から予防に心がけた食生活や運動などを実践しています。また、各種がん検診等を積極的に受診し、疾病の予防・早期発見に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
27 いざという時の受診体制を整える	市民がいつでも安心して受診できる医療体制が整備されています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6

目 標	めざすまちの姿	満 足 度							重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
28 安心できる社会保障制度を運営する	国民健康保険などの社会保障制度が確立され、市民が医療や老後の生活に不安なく暮らせています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
28-1 健康保険及び年金制度		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう														
29 市民の支え合いの和を広げる	各種福祉事業所がより効果的な運営を行うことで、市民は必要な情報を分かりやすく入手し、最適な組み合わせのサービスが利用できるようになっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
30 高齢者の生きがいある生活を支える	公的なサービスをはじめ、ボランティアによる支援、住民同士の助け合いなど、多様な主体によるぬくもりのある支え合いのまちになっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
31 障がい者の主体的な生活を支える	障がいのある人の悩みや要望などのニーズにあったサービスの確保と質の向上が進むとともに、障がい者の早期発見・早期療育など一貫した相談支援体制が充実したまちになっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
31-1 障がい者の主体的な生活を支える		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【安全・安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう														
32 災害から市民生活をまもる	市民・事業者・関係機関・行政が連携して地域や組織の防災力を高めることにより、各種災害による被害を最小限に食い止められるようになっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
32-1 土砂災害や高潮に対する防災対策		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
33 生活トラブルから市民をまもる	犯罪やトラブルに対する啓発が充実しており、未然にそれらが防止されていると同時に、利用しやすい相談体制が確立され、市民が安全・安心に生活しています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6

目 標	めざすまちの姿	満 足 度							重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
34 消防・救急体制を充実する	各種災害に迅速・的確に対応できる消防力を確保することにより、被害を最小限にしています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
5. 無駄なく、効果の高い行政経営が進むまち														
【協働】みんなの心と力を合わせたまちづくりを進めよう														
35 市民活動が行いやすい環境をつくる	市民と行政が、連携・分担しながら地域課題の解決を図り、その実現に向けて協力し合っています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
36 協働のための仕組みをつくる	市民、関連諸団体、大学などが、行政とともに市政運営について考え、一体となって政策の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
37 質の高い市民サービスを追求する	市民が、平等に質の高い行政サービスを受けています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう														
38 目的達成型の行政経営を進める	市民が、まちづくりの目標や進捗を手取るように分かっています。また、行政課題について必要な協議がなされ、的確に対処しています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
39 組織の充実と人材育成を行う	組織の見直しにより、まちづくりの課題に適切に対応するとともに、職員一人ひとりの意識・能力が向上し、市民から頼られる市役所になっています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
40 持続可能な財政運営を進める	市の財政状況が分かりやすく情報発信され、透明度の高い財政運営となっています。また、経費の節減や合理化、市税等の収入確保が図られ、財政の弾力性が確保されています。	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6

問7 「今後特に力を入れてほしいまちづくり分野」についてお聞きします。

次の分野別政策目標のうち、今後のまちづくりの中で特に力を入れるべき分野を次の中から主なものを3つまで選び、番号を下の口の中に記入してください。

1. 人材育成	2. 結婚・子育て	3. 雇用促進	4. 観光交流	5. 産業振興
6. 歴史文化	7. 環境保全	8. 自然共生	9. 生活環境	10. 保健医療
11. 福祉	12. 安全・安心	13. 協働	14. 行政経営	15. その他 ()

今後のまちづくりの中で特に力を入れるべき分野

--	--	--

【地域共生社会について】

問8 あなたは、近所との付き合いがどれくらいありますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 日頃から親しく付き合っている	2. 困ったことがあれば協力し合う
3. 会った際に挨拶をする程度	4. 付き合いはない

問9 あなたは、どのような近所との付き合い方を望んでいますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 日頃から親しい付き合い	2. 困ったことがあれば協力し合う付き合い
3. 会った際に挨拶をする程度の付き合い	4. 付き合いはなくてもよい

問10 あなたがお住いの地域にはどのような課題があると感じますか。

次の中から最もあてはまるものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 高齢者の生活支援	2. 子育て世帯への生活支援
3. 障がい者への生活支援	4. 地域住民の社会参加や生きがいづくり
5. 災害への備え	6. その他 ()

問11 日常における近所との支え合いについて、あなたにもできると考える活動は何ですか。

次の中から主なものを3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 近所への買い物の手伝い	2. 通院の付き添い、送迎
3. 食事や掃除などの家事の手伝い	4. ごみ出しなどの力仕事
5. 日常的な見守り、安否確認	6. 日常会話の相手
7. 悩みごとの相談相手	8. 子どもの預かり
9. 気軽に集まれる居場所づくり	10. 災害時の避難の手伝い
11. 特に手助けを実施したくない	12. その他 ()

【あなた自身について】

調査結果を統計的に処理するため、下記についておたずねします。あてはまるものに 1 つ ○をつけてください。

問 13 あなたの性別は次のうちどれにあたりますか。

- | | | |
|-------|-------|-------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 性別を選択しない |
|-------|-------|-------------|

問 14 あなたの年齢は次のうちどれにあたりますか。

- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳代 | 8. 80 歳代以上 |

問 15 あなたの世帯構成は次のうちどれにあたりますか。

- | | | |
|-------------------|----------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子ども（ご自身は親） |
| 4. 親と子ども（ご自身は子ども） | 5. 三世帯同居 | 6. その他（ ） |

問 16 あなたの主なご職業は次のうちどれにあたりますか。（兼業の方は、主たる職業についてお答えください）

- | |
|--|
| 1. 農林漁業（家族従事者も含む） |
| 2. 自営業・自由業（商業、工業、サービス業など、家族従事者も含む） |
| 3. 会社員、公務員など（会社役員、専門職、契約期間 6 か月以上の契約社員も含む） |
| 4. パートタイム、アルバイト、契約社員（契約期間 6 か月未満）、内職など |
| 5. 学生 |
| 6. 主婦・主夫（主に家事に従事） |
| 7. 無職 |
| 8. その他（ ） |

問 17 あなたが、通勤・通学、日常のお出かけの際に利用している交通手段は、次のどれですか。あてはまるものをすべて選び、その番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|----------|--------|---------|-----------|
| 1. 鉄道 | 2. バス | 3. 定期船 | 4. 自家用車 |
| 5. オートバイ | 6. 自転車 | 7. 徒歩のみ | 8. その他（ ） |

問 18 あなたは鳥羽市にお住まいになってどれくらい経ちますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 5 年未満 | 2. 5 年以上 10 年未満 |
| 3. 10 年以上 20 年未満 | 4. 20 年以上 |

問 19 あなたの住まいの地区をお答えください。

1. 鳥羽一丁目	2. 鳥羽二丁目	3. 鳥羽三丁目	4. 鳥羽四丁目	5. 鳥羽五丁目
6. 堅神町	7. 屋内町	8. 池上町	9. 小浜町	10. 大明東町
11. 大明西町	12. 高丘町	13. 安楽島町	14. 船津町	15. 幸丘
16. 若杉町	17. 河内町	18. 岩倉町	19. 松尾町	20. 白木町
21. 相差町	22. 国崎町	23. 畔蛸町	24. 千賀町	25. 堅子町
26. 浦村町	27. 石鏡町	28. 坂手町	29. 桃取町	30. 答志町
31. 菅島町	32. 神島町			

----- ◎ 市政に関するご意見、ご要望等があればお聞かせください。 -----

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れ、9月13日（金）までに郵便ポストに投函してください。

